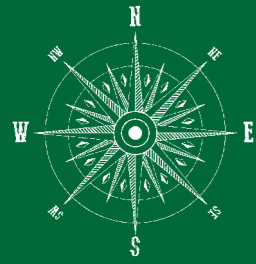


KINGDOM OF SAUDI ARABIA

RIYADH LIFE

JETRO 変容するサウジアラビア

リヤド ライフ



JETRO

リヤド スタイル

発行日: 2023年3月
発行・制作: 日本貿易振興機構(ジェトロ)
ジェトロ・リヤド事務所
Council of Saudi Chambers Building
5th Floor, King Fahd Rd., Riyadh,
Kingdom of Saudi Arabia

撮影・編集・調査: GEN LLC

Photographs provided courtesy of
ADA Art Photo Library
Stock photos from: www.shutterstock.com

【著作権について】本レポートの著作権はジェトロに帰属します。本文の内容の無断での転載、掲示板への掲載等はお断りいたします。【免責について】ジェトロは、本報告書の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。



RIYADH

KINGDOM OF
SAUDI ARABIA



JETRO

はじめに

2015年1月に即位した第7代サルマン国王は翌年4月、中長期的な国家改革を目的とする「サウジ・ビジョン2030」を発表した。同計画は「活気ある社会」、「盛況な経済」、「野心的な国家」の3つの柱から成る。従来、取り組んできた経済の脱石油化・産業多角化の加速はもとより、財政改革、ガバナンスの改善、公共サービスの効率化、国民の健康促進や教育・娯楽の普及に至るまで包括的な内容となっており、「穏健なイスラム社会」の実現を願うサルマン国王とムハンマド皇太子の狙いが反映されている。

「サウジ・ビジョン2030」が発表されて以来、人々の生活環境は大きく変化している。例えば、映画や音楽コンサートをはじめとする娯楽の拡大、自動車運転の解禁などを背景とする女性の社会進出の拡大、就業人口の増加に伴う小売市場の急速な拡大などは、経済や社会の装いを大きく変える要素となっている。環境の変化に伴い、人々の日々の暮らし自体、確実に変わりつつある。

一方、サウジアラビアはイスラム教の二大聖地であるメッカとメディナを擁し、世界で19億人を数えるイスラム教の象徴的な役割を担うことが宿命づけられている。もともとイスラム教の中で最も厳格・保守的な宗派を国是とする同国では、宗教文化への畏敬の念が依然として根強く、家族単位で信条を共にすることが多い。経済、社会の変化への対応も家族単位で異なるため、人々の生活様式は急速に多様化する傾向にある。

もともと豊富な原油収入によってサウジアラビア人の平均可処分所得は高く、家族での長期の海外旅行、高級乗用車や最新の電子機器、ファッションへの出費を惜しまないなど消費性向が高い国民性で知られる。日本の車やデジタル製品、漫画・アニメ、食文化に親しみを有するサウジアラビア人も多く、日本企業にとって魅力のある市場を提供している。

本誌では、サウジアラビアの経済、社会の変化を踏まえつつ、風土・歴史・宗教・文化から産業・生活まで幅広い基本情報を多面的なデータ・情報で紹介している。当地での事業戦略を考える際にご利用いただければ幸いである。

2023年3月
ジェトロ・リヤド事務所

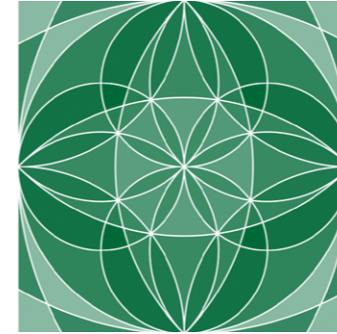


Table of Contents

目次

概要 Overview	2
Basic Information 基本情報	2
4 Regions 4つの地域	3
History 歴史	4
Demographics 人口構成	5
Climate 気候	6
Islam as State Religion イスラム教	7
Religious Holiday 祝祭日	8
Economics 経済	9
International Trade 国際貿易	11
Vision 2030 ビジョン2030	14
Investment in Saudi Arabia 進出日系企業から見た投資環境	16
Riyadh リヤドの概要	19
Major Districts of Riyadh リヤド市の主要地区	20
Demographics of Al Riyadh リヤド人口構成	22
Transportation in Riyadh リヤドの交通	22
Main Industries リヤドの産業	28
消費市場 Consumer Market	32
Mixed-use Facilities in Riyadh リヤドの商業施設	33
The Cosmetic Market 化粧品市場	41
Mixed-use and Regional Development 複合商業施設及び地域開発	43
Tourism 観光	48
衣 Fashion	52
Fashion Culture ファッションカルチャー	52
Fashion Industries ファッション産業	54
住 Living	56
Housing & Living 住まい事情	56
Living in Riyadh お宅訪問	58
食 Food	61
Food Service Industry 外食産業	61
Food Trends 食のトレンド	64
Importing Food Products 食材輸入	66
Supermarket Chains スーパーマーケット	67
Other Food Retailers その他の食料品店	68
Inflation インフレーション	69
Special Interview スペシャルインタビュー	70



概要

Overview

基本情報

Basic Information

サウジアラビアは、アラビア語で「サウード（家）によるアラブ（の王国）」という意味を持つ君主制の王国で、メッカとメディナというイスラム教の二大聖地を擁するイスラム世界の中心的存在である。現国王は二聖モスクの守護者という敬称を持つ、第7代サルマン・ビン・アブドゥルアジーズ・アール＝サウード国王。

世界最大の半島であるアラビア半島に位置し、イエメン、オマーン、アラブ首長国連邦、カタール、バーレーン*、クウェート、イラク、ヨルダンと国境を接する。東側はアラビア湾に面し海岸線の長さは500km以上、西は紅海に面し海岸線は1,750km以上に達する。国土面積は2,149,690km²（日本の約5.7倍）で、その3分の1を砂漠が占める中東最大の国で13の州から構成される。また、世界屈指の埋蔵量・生産量を誇る産油大国である。

*バーレーンとは海上の国境橋で結ばれている。

国土面積 2,149,690km²

首都 リヤド

政治体制 君主制

国王 サルマン・ビン・アブドゥルアジーズ・アルサウード

首相 ムハンマド・ビン・サルマン・ビン・アブドゥルアジーズ・アルサウード皇太子

宗教 イスラム教（国教）

公用語 アラビア語

通貨 サウジ・リヤル（SAR） 1USドル＝3.75 SAR（固定レート）、1SAR＝約35円（2023年3月時点）

国旗 繁栄を表す緑色の旗地にアラビア語でイスラム教の信仰告白の言葉、「アッラーの他に神はなく、ムハンマドはアッラーの使徒なり」と書かれている。

国章 交差した二本の剣は力と忍耐を表し、椰子の木は生命力、生長、繁栄を象徴



4つの地域

4 Regions

アラビア半島の約85%を占めるサウジアラビアは13の州から構成され、地理的に4つの地域に大別される。

ナジド（中央部）：標高1,000mのトワイク山が聳え立つ、地下水が豊富で農業が盛んな高原が広がる地域。【主な都市：リヤド（リヤド州）】

ハサー（東部）：国内最大のオアシス地帯。平野が広がる農業の中心地であり、ルブ・アル・ハーリー大砂漠に接する世界最大の油田地帯でもある。【主な都市：ダンマーム（東部州）、アルコバール（東部州）】

ヒジャーズ（北西部）：アラビア半島の紅海沿岸部、北側に走るヒジャーズ山脈を挟んだ両側の丘陵・山岳地域。ヨルダンとの国境付近から山岳の高低差が続き、平野部はほんのわずか。【主な都市：ジッダ（メッカ州）、聖地メッカ（メッカ州）、メディナ（メディナ州）】

アシール（南西部）：アシールはヒジャーズの南に位置し、イエメン国境へと続く山岳地帯で高低差が1,000mから3,000mと連なる険しい地域。降雨量が多く、平野部は農業地帯となっている。夏は涼しく避暑地として発展。【主な都市：アブハー（アシール州）、ハミース・ムシャイト（アシール州）】

出所：サウジアラビア大使館、外務省サウジアラビア王国





歴史 History

アラビア半島の歴史は、120 万年前のシュワイヒティーヤ遺跡に遡る。また、半島周辺は歴史上重要な古代文明が生まれた場所である。半島北部では世界最古のメソポタミア文明、東部海岸にはディムルーン文明、南のサイハド砂漠では古代イエメン文明が生まれた。紀元前より貿易や灌漑農業、香料の生産等で発展してきたアラビア半島はまた、イスラム教の歴史とも深く繋がっている。

サウジアラビア王国の歴史は、現王室のサウード家の祖先が15世紀にリヤド近郊において勢力を築いたところから始まった。1744 年頃、オスマン帝国の支配化のなか、サウード家はワッハーブ派というイスラム勢力と結びつき、第一次ワッハーブ国を樹立。しかしオスマン帝国の命を受けたエジプト総督ムハンマド＝アリーにより 1818 年に滅ぼされた。1823 年第二次ワッハーブ王国がリヤドを都に再建したが、内紛により再び滅び、サウード家はクウェートに亡命した。1092 年に後の初代サウジアラビア国王アブドゥルアジーズ・イブン・サウードが奪還に成功。勢力を建て直し、1932 年にサウジアラビア王国が建国された。

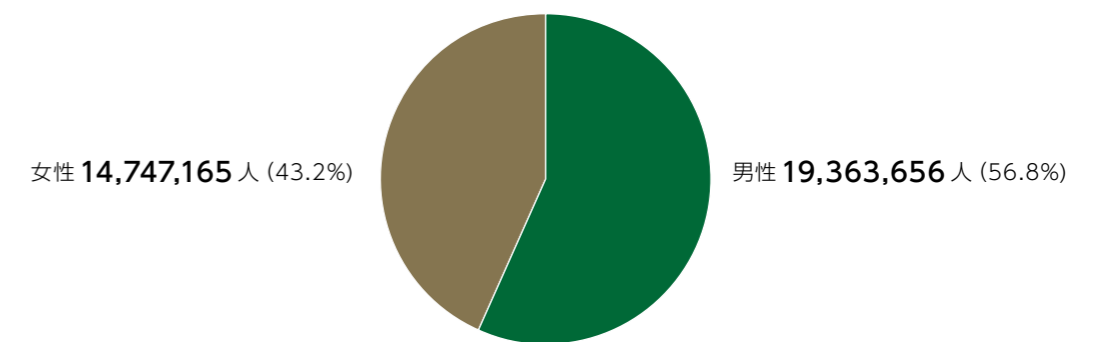
出所：外務省 (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol129/index.html>)
 一般財団法人 中東協力センター (http://saudinomad.karuizawa.ne.jp/saudi_general/history/history_d_peninsulal.html)

人口構成 Demographics

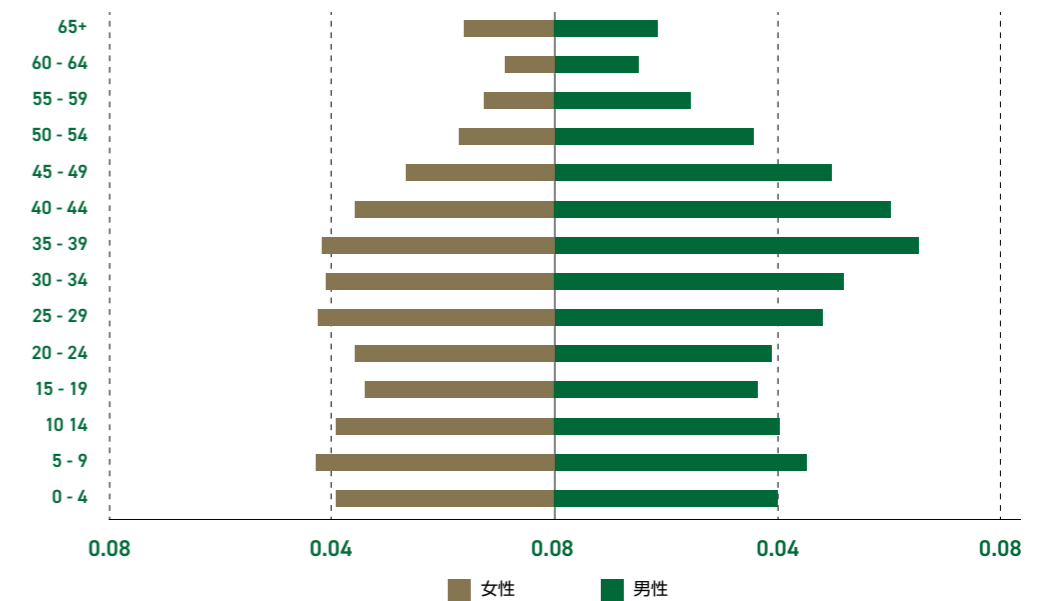
サウジアラビア全体の人口は 2021 年に 3,410 万人で、2020 年の約 3,500 万人に比べて 2.6% 減少した。人口減少の原因は、コロナ禍において多くの外国人が国外退去し、外国人人口が 8.6% 減少したことにあるが、サウジアラビア人の人口は 1.2% 増加している。

男性は総人口の 56.8% (1,936 万人)、女性は総人口の 43.2% (1,474 万人)。サウジアラビア人の人口は総人口の 63.6% を占め、外国人の人口は 36.4% である。就労年齢の外国人男性が多く、男性の割合が高いが、サウジアラビア人だけの性別分布はバランスが取れており、男性が 50.8%、女性が 49.2% である。

総人口 (2021 年) 34,110,821 人



年齢別人口構成図 (2021 年中期推定)



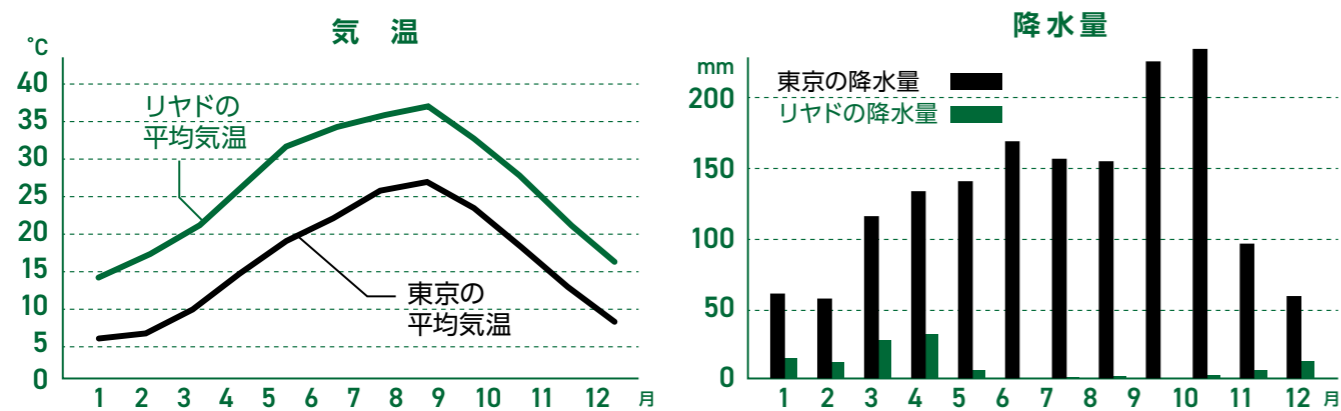
出所：サウジアラビア統計局 (GASTAT) Population Estimates in the Midyear of 2021

気候 Climate

サウジアラビアは広い国土面積と多様な地理条件を持つため、気候は地域によって異なる。ほとんどの地域は高温な砂漠気候で、降水は冬と春にわずかにある。しかし、南西部山岳地域には夏に多雨となるステップ気候に該当する場所もある。湿度は、西部海岸地域、東部海岸平野、南西部山岳地域は年間を通じて高く、内陸に向かうにつれて乾燥していく。

サウジアラビアの中央部の標高約 600 メートルに位置する首都リヤドは、平均的な冬の気温が 9℃から 20℃、夏の気温が 29℃から 37℃ほど。乾燥が強く、平均湿度は 26%、年間降水量は 93 ミリである。

出所：外務省「世界の医療事情 サウジアラビア」
https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/nm_east/saudi.html 館



出所：駐日サウジアラビア大使館リヤドと東京の平均気温
 ※東京の気温および降水量は、東京管区気象台のデータ。リヤドの気温および降水量は、The Weather Channel Enterprises, Inc. のデータより。



イスラム教 Islam as State Religion

サウジアラビアの国教であるイスラム教は、18 億人もの教徒がいる世界で 2 番目に大きな宗教であり、唯一神アラーへの絶対的な服従を説く一神教の宗教だ。この宗教は、サウジアラビアを発祥地としており、7 世紀の最後の預言者ムハンマドが受けた神の啓示をまとめた聖典「コーラン」と、彼の言行を示した記録「ハディース」に基づき信仰が営まれている。コーランの中で基本となっているのが五行である。第一に信仰告白、第二に礼拝、第三に喜捨、第四に断食、第五に巡礼と続く。五行はイスラムの根幹を成す重要な定めである。また、イスラム教始祖モハメドの生誕地であるサウジアラビアにおいて国王は聖地メッカとメディナの二聖モスクの守護者という尊称を持つ。聖地巡礼のため世界中からイスラム教徒が訪れ、イスラム世界における影響力は最も大きい。サウジアラビアはイスラム教の中でもスンニ派の中でも、とりわけ厳しいとされるハンバリー学派のワッハーブ派に属している。

イスラム教徒の宗教生活は、1 日 5 回の礼拝やラマダンの断食をはじめとした儀式や道徳的義務が 24 時間に組み込まれる一方で、家族や友人を思いやることや共に喜ぶことも宗教的な生き方の一部であることとしている。

近年では、サウジアラビアは厳格なイスラム教の伝統を維持しつつ、女性の社会参加の拡大や経済の多様化を目指す政策が進められるなど、近代化を進める取り組みを行っている。イスラム法が近代的価値観に抵触することもあるかもしれないが、サウジアラビアは宗教と現代化をバランス良く取り入れることで、発展を遂げようとしている。

出所：Saudi Tourism Authority サウジの宗教：イスラム教のガイド <https://www.visitsaudi.com/ja/do/culture/religion-in-saudi--a-guide-to-islam>、日本アセアンセンター「イスラム教とムスリム」<https://www.asean.or.jp/muslim/about/index.html>、Newsweek (2021 年 5 月 27 日)「サウジアラビアでイスラム教の在り方が大きく変化 ... 日本人が見過ごす実態」<https://www.newsweekjapan.jp/iiyama/2021/05/post-18.php>

イスラム教徒に課された五つの義務（五行）

第一の信仰告白は、「アラーの他に神は無い、ムハンマドは神の使徒である」と証言すること。

第二の礼拝は、1 日 5 回聖地メッカのカアバ神殿の方向に向かって神に祈ること。

第三の喜捨は、年収の 40 分の 1 にあたる金銭か品物を寄付し、困窮者に施すこと。

第四の断食は、ラマダーン月の日中に飲食を慎むこと。

第五の巡礼は聖地メッカのカアバ神殿に巡礼すること。



ワッハーブ派の三大理念

1. タウヒードの宣教

『アッラーの他に神はなし』という神の唯一性の宣言

2. 勸善懲悪の実践

イスラムの戒律・倫理・風紀の統制

3. シャリーアの厳格な施行

イスラム法に則った法の施行

祝祭日

Religious Holiday

宗教関連の祝祭日はヒジュラ暦（イスラム暦）を採用しており、毎年祝祭日が変わる。

ヒジュラ歴元年はムハンマド生誕の年ではなく西暦622年にメディナにイスラム共同体が成立した年を聖遷（ヒジュラ）元年としている。ちなみに2023年7月上旬までは、ヒジュラ暦の1444年である。祝祭日以外の休日は金曜日と土曜日である。

ラマダン（断食月）明け

Eid Al Fitr

イスラム暦の第9の月を意味するラマダンは修行として断食を行い、その終了を祝う。

犠牲祭

Eid Al Adha

イスラム暦第12の月がハッジであり、世界中のイスラム教徒によるメッカへの巡礼期間である。ハッジ月10日から4日間を犠牲祭として家畜動物を1匹生贄として捧げて祝う。肉は友人、家族との祝いの食事として振舞われたり、貧しい人々へ配られる。

第一次サウード王国建国記念日 2月22日（西暦）

建国記念日 9月23日（西暦）



経済

Economics

1933年の国営石油会社サウジアラムコの設立、1938年ダンマン油田開発、1949年のダンマン油田採油活動が全面操業して以来、石油はサウジアラビアに経済的繁栄をもたらした。また、1960年石油輸出国機構（OPEC）の設立加盟を通じ、サウジアラビアは国際社会において大きな影響力を与えてきた。世界の主要先進・新興国が構成するG20のメンバー国でもある。

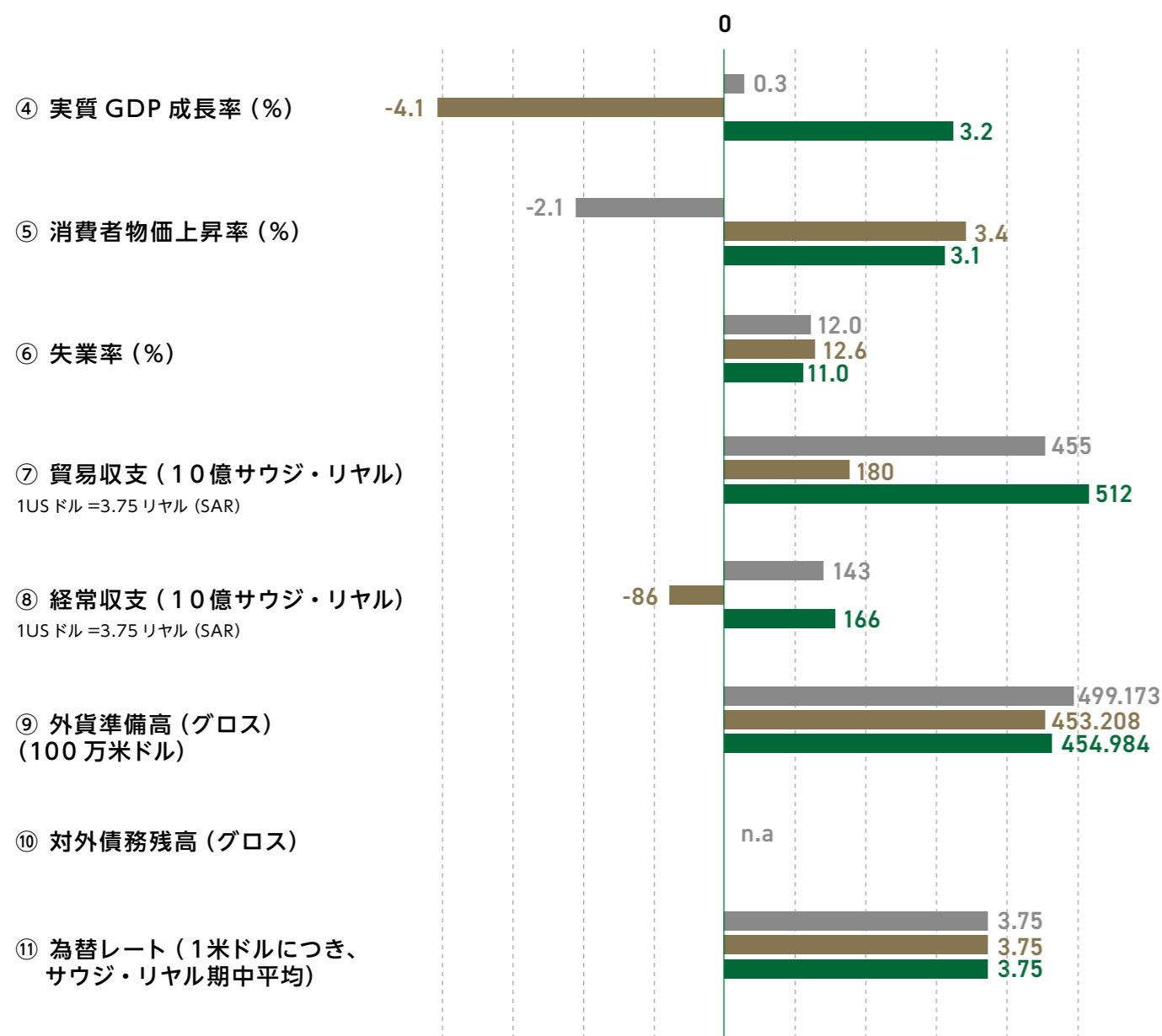
サウジアラビア政府は、2021年10月にさらなる投資呼び込みに向けた政策として、国家投資戦略（NIS）を新たに発表した。外国直接投資（FDI）の受入額をGDP比で2021年の1.5%から2030年までに5.7%まで引き上げることなどが盛り込まれている。2021年2月に発表された地域統括会社（RHQ）誘致策（サウジアラビア国内にRHQを置かない外国企業に対して政府調達への参加を認めないとする制度）は、この戦略目標を達成するための一環で、今後、経済特区、規制改革、融資などの改革が行われる見込みだ。日本企業の進出は新型コロナで停滞していたが、コロナ禍の沈静化に伴い、近隣諸国や日本からの往来が活発化してきている。

2023年の経済成長率について、政府と主要国際機関の見通しは3.1～5.0%と、主要国の平均を上回る水準だ。サウジアラビア財務省は、2023年の経済成長率を3.1%と予想した。コロナ禍の沈静化より経済が急回復を遂げた2022年の8.5%の成長見通しから大幅な減速だが、政府が進める経済財政改革が経済成長を持続させるとしている。IMF（国際通貨基金）と世界銀行は3.7%、OECD（経済協力開発機構）は5.0%と高成長を見込んでいる。世界的な物価上昇や地政学的な環境変化により、主要国の成長見通しが引き下げ中、サウジアラビア経済については緩やかな成長が見込まれる。

出所：JETRO ビジネス短信 2023年01月16日付

主要経済指標

- ① 人口：3,411万人（2021年）
- ② 面積：214万9,700km²（2021年）
- ③ 一人当たりGDP：2万3,507米ドル（2021年）



[注] ①③⑤⑦⑧：2021年は推計値、⑥：サウジアラビア人のみ（各年ともに第4四半期値）、⑦：国際収支ベース（財のみ）

[出所] ①⑥：経済企画省総合統計庁、②：世界銀行、③⑤⑨⑪：IMF、④⑦⑧：サウジアラビア中央銀行

出所：JETRO 海外調査部・リヤド事務所（2022）世界貿易投資動向シリーズ「サウジアラビア」

国際貿易

International Trade

輸出

サウジアラビアの総輸出額は、2020年の6,520億リアルから、2021年には10,357億リアルに達し、58.9%増加した。増加の要因は主に石油輸出によるもので、同期間に3,105億リアルの増加（69.4%増）である。そのため、輸出全体に占める石油の割合も68.7%から73.2%に増加した。

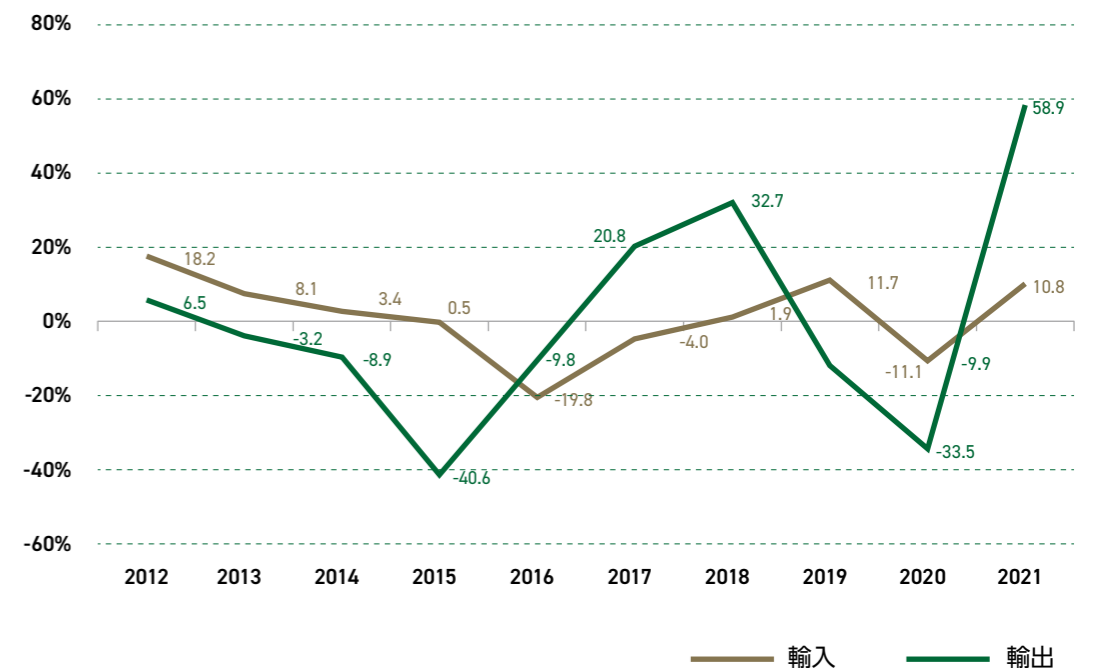
非石油輸出額は2020年の2,044億リアルから2021年には2,775億リアルに達し、35.8%増加した。非石油商品輸出割合の32.8%を占める「プラスチック、ゴム及びそれらの製品」は283億リアル、30.3%を占める「化学または関連産業の製品」は262億リアル増加し、どちらも前年比で約45.3%増加した。

輸入

総輸入額は、2020年の5,175億リアルから、5,732億リアルで、10.8%増加した。主な輸入商品は、「機械および機械器具」（全輸入の20%）と「輸送用機器およびその部品」（全輸入15.0%）である。

出所：サウジアラビア統計局（GASTAT）International Trade 2021
<https://www.stats.gov.sa/sites/default/files/ITR%20ANN2021E.pdf>

国際貿易（前年比、%）

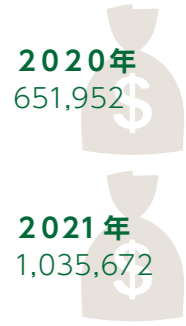


出所：サウジアラビア統計局（GASTAT）

サウジアラビアの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

輸出総額 (FOB/ 単位：100万サウジ・リヤル)



	輸出 (FOB)		2021年	
	2020年 金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	651,952	1,035,672	100.0	58.9
鉱物資源・同製品	451,093	762,693	73.6	69.1
プラスチック・ゴム・同製品	62,729	91,073	8.8	45.2
化学製品	57,873	84,111	8.1	45.3
車両・航空機・船舶当輸送機器	19,474	23,508	2.3	20.7
卑金属・同製品	16,401	22,425	2.2	36.7
機械類・電気機器・同部品	10,966	14,892	1.4	35.8
天然・養殖真珠・宝石・貴金属等	8,555	7,673	0.7	△10.3
食料品・飲料・酢・たばこ類	5,846	6,907	0.7	18.1
生きた動物・動物性生産品	5,369	5,372	0.5	0.1

輸入総額 (FOB/ 単位：100万サウジ・リヤル)



	輸入 (CIF)		2021年	
	2020年 金額	金額	構成比	伸び率
輸入総額 (CIF)	517,491	573,185	100.0	10.8
機械類・電気機器・同部品	109,094	114,500	20.0	5.0
車両・航空機・船舶等輸送機器	83,009	86,201	15.0	3.8
化学製品	53,404	60,590	10.6	13.5
卑金属・同製品	49,600	53,735	9.4	8.3
野菜類	34,922	34,878	6.1	△0.1
鉱物資源・同製品	18,613	29,301	5.1	57.4
食料品・飲料・酢・たばこ類	28,418	29,005	5.1	2.1
プラスチック・ゴム・同製品	19,462	21,805	3.8	12.0
繊維・同製品	20,018	21,060	3.7	5.2

(出所) 経済企画省総合統計庁

出所：サウジアラビア統計局 (GASTAT) (2022) International Trade 2021 <https://www.stats.gov.sa/en>
JETRO 海外調査部・リヤド事務所 (2022) 世界貿易投資動向シリーズ「サウジアラビア」

2021年貿易 (通関ベース、サウジアラビア総合統計庁)、輸出が前年比の58.9%増の1兆356億7,200リヤル、輸入が10.8%増の5,731億8,500万リヤルとなり、新型コロナ以前の2019年の水準にまで回復した。最大輸出品目である鉱物資源の伸び率が大きく影響し、黒字幅も3.4倍の4,624億8,700万リヤルに拡大した。

ユスツを品目別に見ると、構成比が1%以上の全品目がいずれも大きく回復した。特に輸出額の7割超を占める鉱物資源・同製品が前年比69.1%増となったことが輸出額全体の最大の押し上げ要因となった。鉱物資源に次ぐ輸出品であるプラスチック・ゴム・同製品、化学製品もそれぞれ45.2%増、45.3%増となった。輸入も同じく、経済の回復基調に伴い主要品目でいずれも増加した。

サウジアラビアの主要国別輸出入<通関ベース>

(単位：100万サウジ・リヤル、%)

主な輸出相手国順位

2020年

1. 中国
2. 日本
3. インド
4. 韓国
5. UAE

主な輸入相手国順位

2020年 & 2021年

1. 中国
2. アメリカ
3. UAE
4. インド
5. ドイツ

	輸出 (FOB)		2021年	
	2020年 金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	651,951	1,035,672	100.0	58.9
中国	120,016	190,911	18.4	59.1
日本	62,307	102,598	9.9	64.7
インド	60,208	99,866	9.7	66.0
韓国	54,379	87,342	8.4	60.6
UAE	44,349	56,481	5.5	27.4

	輸入 (CIF)		2021年	
	2020年 金額	金額	構成比	伸び率
輸入総額 (CIF)	517,492	573,186	100.0	10.8
中国	101,562	113,381	19.8	11.6
米国	55,145	60,549	10.6	9.8
UAE	34,287	46,770	8.2	36.4
インド	24,530	30,277	5.3	23.4
ドイツ	26,869	28,093	4.9	4.6

(出所) 経済企画省総合統計庁

日本の対サウジアラビア主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万サウジ・リヤル、%)

	輸出 (FOB)		2021年	
	2020年 金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額 (FOB)	4,229	4,473	100.0	5.8
輸送用機器	2,624	2,964	66.3	12.9
自動車	2,435	2,767	61.9	13.6
乗用車	1,995	2,267	50.7	13.6
バス・トラック	439	500	11.2	13.9
自動車の部品	176	185	4.1	4.8
一般機械	490	441	9.9	△9.9
原動機	119	98	2.2	△17.9
ポンプ・遠心分離機	164	147	3.3	△10.2
荷役機械	51	42	0.9	△17.4
加熱用・冷却用機器	12	11	0.2	△9.3
原料別製品	731	599	13.4	△18.1
鉄鋼	363	217	4.9	△40.1
ゴム製品	157	165	3.7	5.7
織物用糸・繊維製品	126	130	2.9	3.5
電気機器	136	166	3.7	22.0

	輸入 (CIF)		2021年	
	2020年 金額	金額	構成比	伸び率
輸入総額 (CIF)	18,385	27,481	100.0	49.5
鉱物性燃料	17,623	26,267	95.6	49.0
原油および粗油	17,138	25,201	91.7	47.1
化学製品	317	537	2.0	69.8
有機化合物	214	411	1.5	92.4
原料別製品	181	328	1.2	81.0
非鉄金属	178	325	1.2	82.8
原料品	232	303	1.1	30.9
非鉄金属鉱	105	79	0.3	△24.5

(出所) 財務省「貿易統計」(通関ベース)をドル換算

出所：JETRO 海外調査部・リヤド事務所 (2022) 世界貿易投資動向シリーズ「サウジアラビア」



ビジョン2030 Vision 2030

2016年4月、サウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマン副皇太子（当時）は、サウジアラビアの経済改革と石油依存の低減を目的として「ビジョン2030」という戦略的計画を発表した。この計画は、「活気ある社会」、「盛況な経済」、「野心的な国家」と3つのテーマに基づき、イスラム価値を守りつつ、ドラスティブな改革を実行するものである。

政治面ではガバナンス改革として汚職撲滅、民間部門を含めた収賄行為への厳格な処罰、デジタル化の推進、政府サービスの向上などがあげられる。

次に社会面では、社会・文化・宗教の間に新たなバランスをもたらし、女性の社会進出の促進、余暇の充実などがある。

最後に、経済改革では、財政改革、産業多角化などがある。

発表から5年が経過した2021年4月27日に、サウジアラビアの経済開発問題委員会は、「ビジョン2030」の達成状況について報告した。成果として、4時間以内の緊急医療サービスへの

アクセスが36%から87%に向上したこと、交通事故の年間死傷者数10万人中28.8人から13.5人まで減少したこと、住宅補助により住宅所有者数が47%から60%に増加したことなどがあげられた。

「ビジョン2030」の最優先目標の1つは経済の多様化だ。サウジアラビア経済は長い間、石油輸出に依存してきたが、今や多様な分野へと展開しようとしている。非石油のGDP比率は2016年の55%から2020年には59%に増加し、非石油収入も2015年の1,660億リヤルから2020年には3,690億リヤルに増加した。サウジアラビアの観光向け遺産場所の数が2,241カ所から354カ所へと増加し、観光分野に新たな職が生まれた。さらに、個人の権利や職務上の権利を保護するために起案された法律を通して、女性の労働参入率も2017年の19.4%から2020年には33.2%に増加した。ビジョン2030によって新たな職が生まれ、収入源が多様化し、GDPも向上した。

今後は一般市民や民間企業の参画も視野に入れており、数々の意欲的な目標の中でも医療部門の改革を次なる目標としている。

出所：「ビジョン2030」公式ホームページ
<https://www.vision2030.gov.sa/>
<https://www.vision2030.gov.sa/v2030/achievements/>

出所：サウジ国営通信社（2021年4月27日）Vision 2030 constitutes a comprehensive strategy for Saudi Arabia

出所：アラブニュース（2021年4月28日）
サウジアラビアのビジョン2030が5年目にして達成したこと
https://www.arabnews.jp/article/roadto2030/article_38917/



進出日系企業から見た投資環境

Investment in Saudi Arabia

「2022年度海外進出日系企業実態調査中東編」によると、サウジアラビアの投資環境の魅力として、「市場規模」や「成長性・潜在力の高さ」が最も多くあげられた。今後1~2年の事業展開について、41%の企業が「拡大する」と回答し「現状維持」と合れば94%近く、日系企業の成長も見込まれる。「対日感情が良い」ことや「安定した金融・財政・為替」も投資環境の魅力としてあげられた。対して、投資環境の課題としては「突然の制度導入や変更」、「法制度の未整備・不透明性」、「労働力不足・人材採用が困難」など、さらなる改善が求められている。

今後有望視されるビジネス分野は、燃料アンモニア・水素・炭素回収等の「資源・エネルギー」、そして電力・水・都市開発等の「インフラ」の分野があげられた。さらに日本アニメも注目される分野であり、ストーリーの多様性、オリジナリティ、品質などで、幅広い年齢のサウジアラビア人に人気がある。しかし、イスラム的価値観に基づく政府の規制に従う必要があるため、政治的な主張を伴うもの、過度に暴力的な描写、肌の露出が極度に多いものなどは、取り扱いの対象外としている。

出所：JETRO 海外調査部（2022年12月20日）2022年度海外進出日系企業実態調査中東編

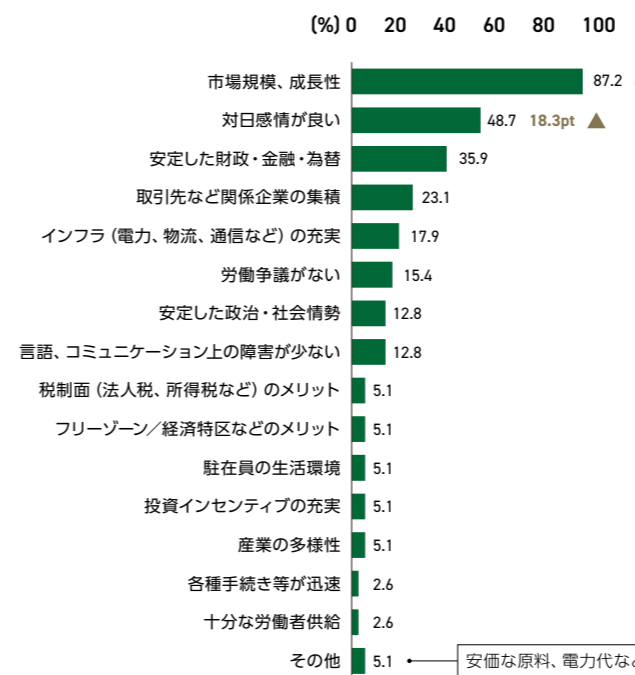


サウジアラビアの投資環境の魅力

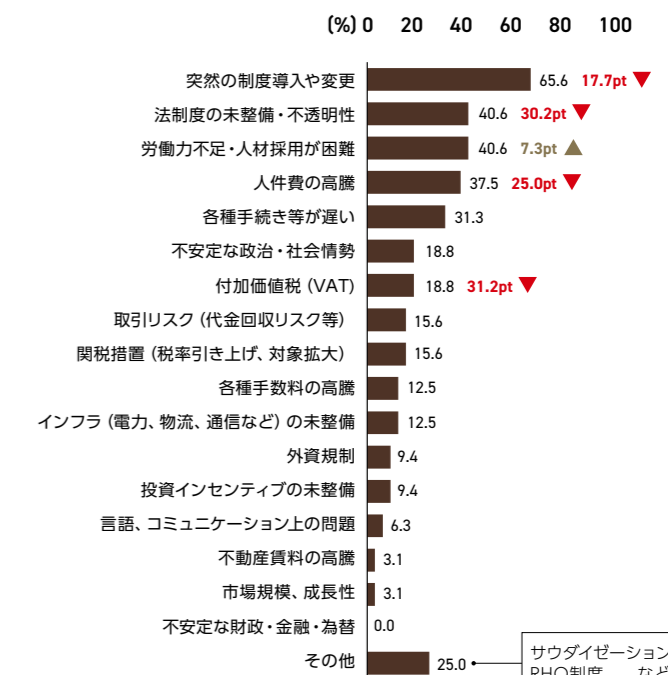
- ・ 魅力は「市場規模、成長性」が87.2%で最多。次いで「対日感情の良さ」が前年から18.3ポイント増で約5割り。
- ・ 課題は法制度面が上位も、前年からはポイント減。「労働力不足・人材採用が困難」は前年比7.3ポイント増。

昨対比： ▲ 増加 ▼ 減少

投資環境の魅力【複数回答】(N=39)



投資環境の課題【複数回答】(N=32)



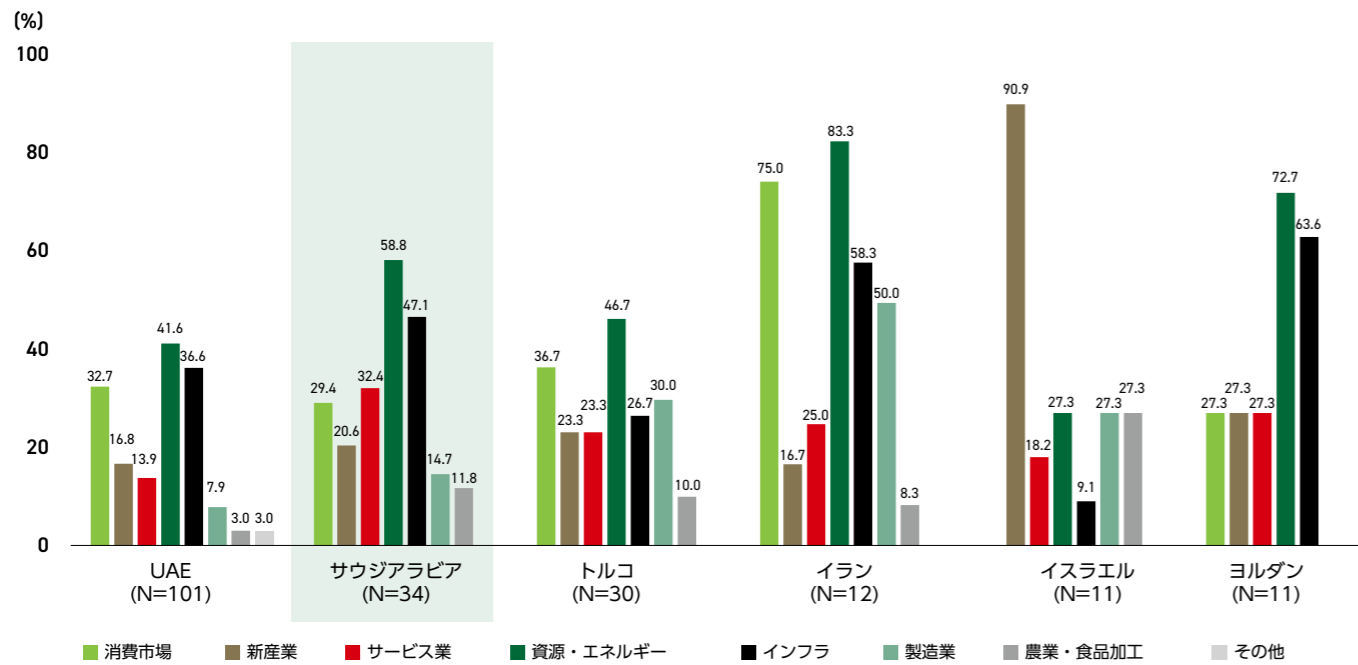
出所：JETRO 海外調査部（2022年12月20日）2022年度海外進出日系企業実態調査中東編



今後有望視するビジネス分野（国別）

- ・ 国別に見ると、イスラエルを除く全ての国で「資源・エネルギー」が最多の回答。トルコ、イランでは「消費市場」、UAE、サウジアラビア、ヨルダンでは「インフラ」が2位。
- ・ イスラエルでは9割以上の企業が「新産業」を挙げる。

今後駐在国もしくは中東市場で有望視するビジネス分野



出所：JETRO 海外調査部（2022年12月20日）2022年度海外進出日系企業実態調査中東編



リヤドの概要 Riyadh

アラビア語で「庭園」を意味するリヤドは、文字通り地下水に恵まれた緑の豊かな砂漠のオアシスであった。18世紀末まではナジド高原の拠点ディライーヤであり、リヤドは隣接する村の一つで、都市としての歴史は短い。

第一次サウード王国が崩壊した1818年、サウード家は本拠地をディライーヤからリヤドに移転。以来、ナジド地方との中心市として発展してきた。第二次および第三次サウード王国においてもリヤドが中心となり、1932年からサウジアラビア王国の首都として現在に至っている。最初の油田が発掘されたアブドゥル・アジーズ初代国王時代以来、急速な近代化を迎えた影響でリヤドの発展は加速した。現在では経済および政治の中心地であり、国際的企業、政府機関、各国大使館が集結。世界屈指の原油埋蔵量を誇る産油国の首都としての役割を果たしている。

出所：在サウジアラビア日本国大使館「リヤド案内」2013年7月改訂
(http://www.ksa.emb-japan.go.jp/j/consular/riyadh_guide.pdf)

リヤド市の 主要地区

Major Districts of Riyadh

近代化を目指した1950年代、アメリカの都市を参考にして、町並みや道路などを格子状に整備する都市計画を実施した。現在、16の地区に130以上の市区町村がある。

1. Al Bathaa アルバトハ地区

歴史上重要なマスマク城塞跡やサウジアラビア初代のアブドゥルアジーズ王が建てたムラバ宮殿、そして国立博物館など歴史に関連した建物がある。

2. Olaya オラヤ地区

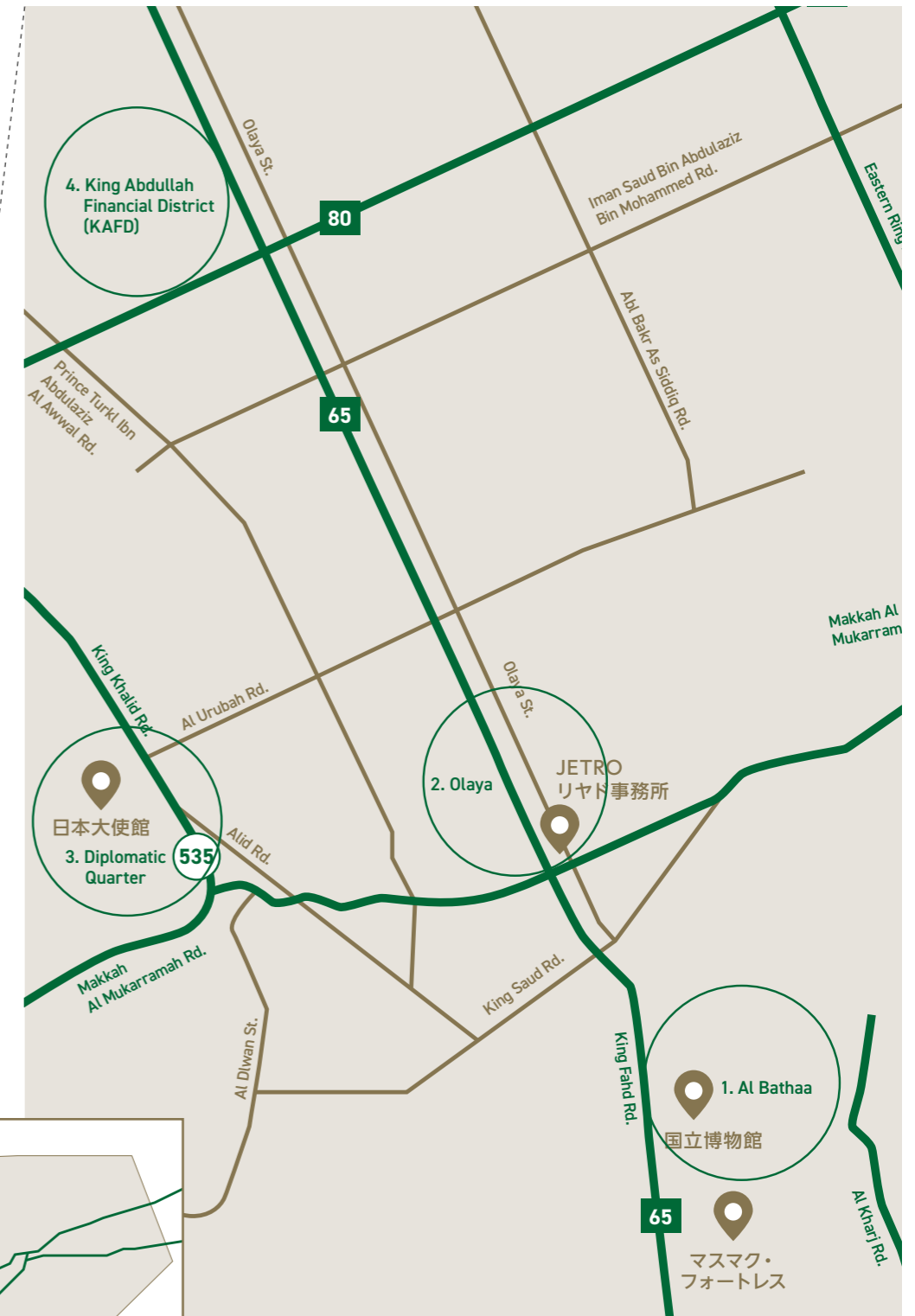
リヤドの中心部。高級住宅街や、高級ショッピングモール、ホテル、オフィスビル等の所在する商業地区があり、キングダムタワーやアルファイサリアタワー等、リヤドのランドマークが密集している。

3. Diplomatic Quarter 外交地区

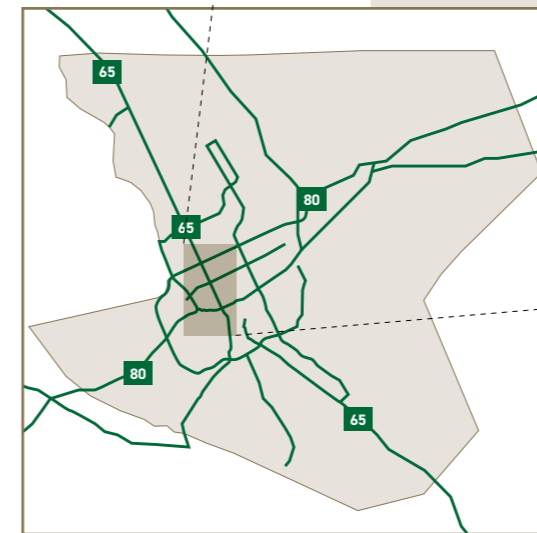
各国大使館や国際機関などが集中しているエリアで、学校、乗馬、ジム等のスポーツ施設がある。リヤドで最も緑が豊かな公園もある。

4. King Abdullah Financial District (KAFD) キングアブドゥッラー金融地区

2005年から2015年までサウジアラビアを統治したアブドラ国王にちなんで名付けられ、ビジョン2030の価値を捉え、リヤドの経済を強化するために開発された世界クラスの金融地区。近代的な建物、最先端のオフィス、緑地や公園、高水準のライフスタイルを提供するショッピングセンターやレストラン、スポーツ施設、教育施設がある。持続可能性を念頭に置いて設計され、環境認証を受けた金融センターであり、多くの国際企業や金融機関を惹きつけている。



リヤド市中心地

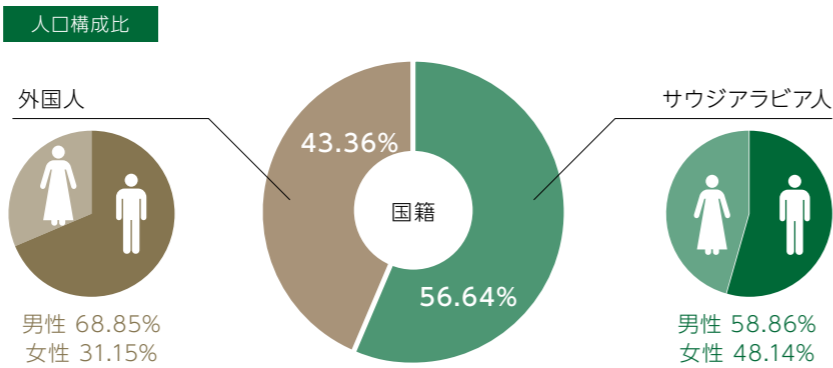


リヤド市全体マップ



リヤド人口構成 Demographics of Al Riyadh

総人口 8,216,284人 (2017年)



出所：サウジアラビア統計局 (GASTAT) (2017) Population Characteristics Survey

リヤド交通 Transportation in Riyadh

リヤドの交通事情は、政府による交通インフラへの投資で、将来的に飛躍的に発展する予定だ。しかし整備途中のため、市内の主な移動手段はタクシー、バス、レンタカーを含む自動車によるものである。タクシーはショッピングモールや大型スーパーマーケット、公園などの近くで簡単に見つけることができるが、ドライバーの多くが公用語のアラビア語を使うため、外国人の間では、スマートフォンで簡単に予約できるUber、Careem、Bolt、Kekabなどの配車アプリを使ったライドシェアを利用する傾向が高い。

公共交通プロジェクト

現在整備中である公共交通プロジェクトは、アブドゥルアジーズ国王の指揮のもと、リヤド市内のすべての人々に快適で、適正価格で時間の節約になる世界クラスの交通ネットワークを提供することを目的としている。メトロ（地下鉄）とバスネットワークの構築が並行して進められており、相互接続により利便性の高い移動を可能にする。公共交通機関ネットワークは、初期の運用段階で1日あたり170万人の乗客を収容できると予想している。



メトロネットワーク（地下鉄）

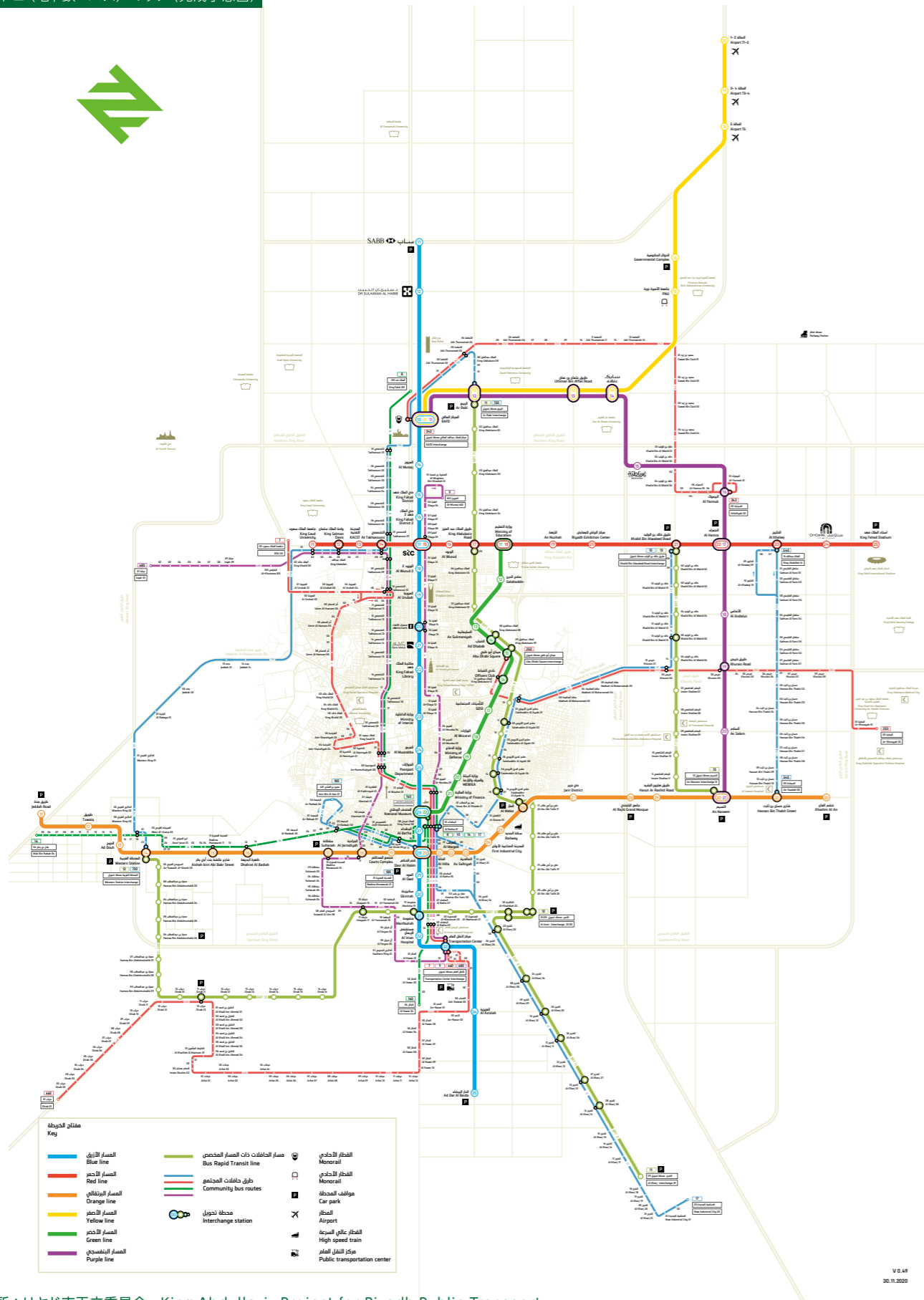
総延長176kmの6路線と84の地下鉄駅からなるメトロネットワークは、人口密集地域、公共施設、主要な大学などの教育施設、商業エリア、金融街、医療機関及び空港へのアクセスを安易にする。地下鉄は、公共交通網を支え、第一期で1日あたり120万人の乗客を輸送でき、すべての路線の完成時には360万人の乗客を輸送することが可能性となる。

バスネットワーク

80路線2,860のバス停留所が設けられ、842台のバスで運行し、50万人以上の乗客を輸送する能力を持つ。これらの路線は、人口密度や推定交通量、予想乗客数に基づいて設計されており、交通渋滞と温室効果ガス排出量を最小限に抑えることを目的としている。

出所：リヤド市王立委員会 (The Royal Commission for Riyadh City)

<https://www.rcrc.gov.sa/en/projects/king-abdulaziz-project-for-riyadh-public-transport>



鉄道

サウジアラビアには国有鉄道会社が2社あり、サウジアラビア鉄道機構 (SRO) はリヤドとダンマーム間、サウジアラビア鉄道公社 (SAR) はリヤドとハイル間の旅客線を運営している。

貨物線を含んだサウジアラビアの鉄道網は、リヤドからヨルダンの国境までと、北部の鉱物採掘場へつながる支線を合わせた2,750キロの南北線、450キロのリヤド～ダンマーム線、聖地メッカとメディナを結び、キングアブドラ経済都市、キングアブドルアジーズ国際空港、ジェッタを經由する450キロのハラマイン高速鉄道の3路線がある。合計で約3,650キロある路線網だが、将来的には新路線を8,000キロ追加し、鉄道網の規模を3倍以上に増やし、既存の鉄道網に接続する計画があることを、サウジアラビア政府が発表している。



空港 リヤド国際空港

King Khalid International Airport

キング・ハーリド国際空港は市内中心部から北に約 35km に位置し、4代目国王ハーリド・ビン・アブドゥルアジーズに因んで名付けられた。ジェッタ空港に次いで国内で2番目に大きい空港で、面積は約 375 平方キロメートルであり、1983 年に開港した。国内外 51 社以上の航空会社が就航し、世界各地 105 以上の都市をつなぐ。5 棟の一般旅客用ターミナルと王室専用ターミナルが所在する。利用する航空会社により、ターミナルが異なる点を留意する必要がある。

2019 年には 2,600 万人の乗客がキング・ハーリド国際空港を利用した。2020 年にはコロナウイルスのパンデミックの影響により、1500 万人に減少し、2021 年には 1800 万人の乗客が空港を利用したとされている。

出所：リヤド国際空港：<https://www.riyadh-airport.com/>



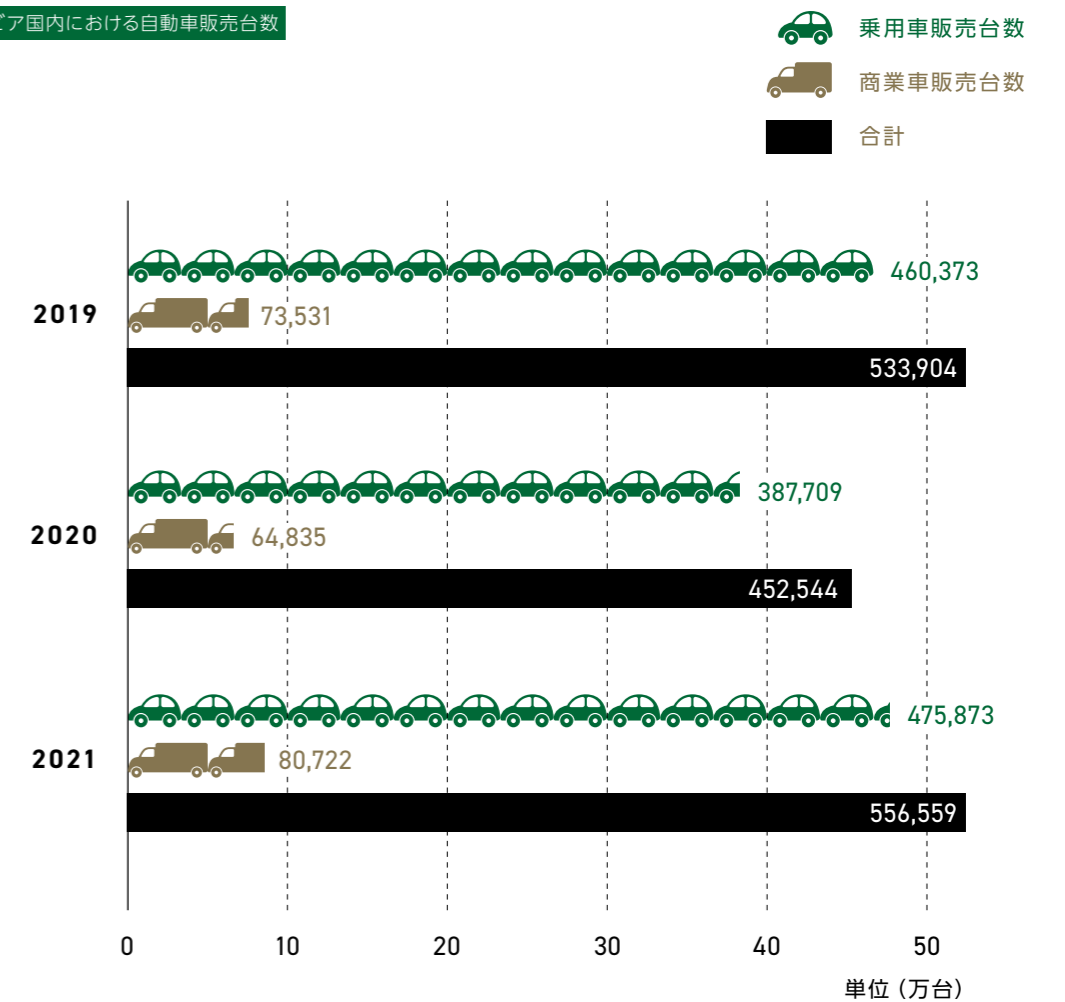
主な移動手段

公共交通機関の整備が進んでいる一方で、多くの人にとって配車サービスや自家用車といった自動車が必要な移動手段である。また、「ビジョン 2030」が目指す「活力のある社会」達成の政策として、2018 年に女性の自動車運転解禁がされたことで、女性が自動車を購入・選択する機会が増えており、女性にとって自動車での移動がより一般的となっている。

2021 年のサウジアラビア自動車販売台数は、乗用車が前年比 22.7% 増の 47 万 5,837 台、商用車が 24.5% 増の 8 万 722 台となった。新型コロナウイルス感染拡大による経済活動への影響が軽減され、販売台数は、乗用車・商用車ともに回復をみせた。

出所：JETRO (2022) 主要国の自動車生産・販売動向、国際自動車工業連合会 (OICA) GLOBAL SALES STATISTICS 2019-2021

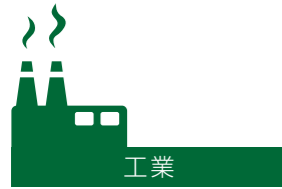
サウジアラビア国内における自動車販売台数



出所：国際自動車工業連合会 (OICA) GLOBAL SALES STATISTICS 2019-2021, Passengers Cars および Commercial Vehicles から作成、<https://www.oica.net/category/sales-statistics/>

リヤドの産業

Main Industries



リヤドは人口の増加とともに、様々な分野で経済成長を続けており、規模の大きさから中東地域において重要な役割を担っている。政治経済の中心地として政府関連や企業本社と共に、金融の中心としてサウジアラビア通貨庁 (SAMA: Saudi Arabian Monetary Authority)、資本市場庁 (CMA・Capital Market Authority) 等の政府機関や外資の金融機関が集結している。

リヤド地域サウジアラビア工業用地公団 (MODON: Saudi Industrial Property Authority) は 2001 年に設立以来、工業用地のインフラ開発と監督を務めている。民間の工業都市や複合施設に加えて、サウジアラビア全体で、36の既存および開発中の工業用地を監督し、現在までに、工業用地面積 2 億㎡近くまでに及んでいる。

リヤド市内には、3つの工業団地がある。リヤドの中心部に位置する第一工業団地の総面積は5万㎡で63の工場があり^(注1)、第二工業団地は南部郊外に位置し、190万㎡に1,115もの工場がある^(注2)。2010年に開設した第三工業団地は、リヤド南部の中心部に位置し、1,000,000㎡の敷地に、26の工場が稼働している。また、リヤド市から150km北部に位置するステイル工場団地には、639億㎡に329もの工場が稼働している。同じくリヤド市から南部140kmに位置するアルカルジ工業団地は、94万㎡に372もの工場が稼働している^(注3)。

(注1) 2021年12月21日時点 (注2) 2021年3月13日時点 (注3) 2021年12月14日時点

出所: Modon, Saudi Authority for Industrial Cities and Technology Zones <https://modon.gov.sa/en/Pages/default.aspx>



リヤド地域は国の主要農業地域の一つで、サウジアラビアの耕作可能面積の33.1%を占めている。最大の農業地域であるアルカルジ (リヤド市から南部に140km) にも近接することから、農業生産において中心的な役割を果たしている。有機農業も盛んに取り組んでおり、2021年の有機農業統計によると、有機畜産における牛の数は600頭で、有機養蜂式の巣の数は6,500に達した。有機農業の総面積は27,109ヘクタールで、果物が最も多く、ナツメヤシを除く果物は13,243ヘクタールだった。有機農作物の総生産量は98,774トンに達し、果物が有機農業生産の63.3%を占めた。

出所: JETRO(2020) サウジアラビアにおける消費行動調査 https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/3353057625765e47/20190035.pdf ; サウジアラビア統計局 (GASTA) Agricultural Statistics Publication for 2021



2018 - 2019年リヤド地域の耕地面積と総生産(2018年実績)

	総生産 (トン)	総面積 (Area = 1000㎡)	国内全体の割合
穀物	290,762	437,450	2,683,312 の 16%
飼料	3,201,652	1,720,003	4,866,133 の 35.3%
野菜	234,253 (温室栽培野菜: 104,770)	夏季 83,753.50 冬季 137,474 温室栽培野菜: 13,025,884㎡	36,2097 の 23% 467,961 の 29.3% 32,947,306㎡
果物 (ヤシの木、フルーツヤシの木 (デーツ含む))	402,411	7,924,947 本	31,234,155 本の 25.3%
果物 (デーツを含まない)	24,305	951,282 本	28,115,049 本の 29.5%

2018 - 2019年 リヤド地域の酪農頭数 (2018年実績)

	頭数	国全体の割合
羊	2,177,775	9,419,686 の 23.1%
ヤギ	706,711	3,711,155 の 19%
ラクダ	136,592	492,853 の 28%
牛	13,013	32010 の 41%
鶏	2,136,313	6,420,566 の 33%

出所: サウジアラビア統計局 (GASTA) より作成



商業

サウジアラビアは商業的にも世界的に注目されており、特にリヤドは国際的なビジネスハブとして台頭し、多国籍企業の地域本部の設置も進んでいる。起業家にとって、ビジネスを始めるのに最も適した都市としても評価されており、コロナ後の成長が期待されている。

世界銀行のデータによると、サウジアラビアにおける新規事業登録企業数は、2010年の5,762社に対し、2019年には17,310社と、過去10年間で約1万社増加した。

サウジアラビアに拠点設立を行う場合は、投資省と商業省への申請が必要であり、投資省から該当業種の投資ライセンスを取得し、商業登記を行う必要がある。また商標権の登録あるいは商標権侵害に関する報告については、サウジアラビア知的財産局 (SAIP) が窓口になっている。外国企業の会社設立手続きに関しては、ジェトロウェブサイト参照 (https://www.jetro.go.jp/world/middle_east/sa/invest-09)。

出所: Statista "Total number of establishments in Saudi Arabia from 2010 to 2017" : <https://www.statista.com/statistics/712576/saudi-arabia-number-of-establishments/>

THE WORLD BANK "New businesses registered (number) - Saudi Arabia" : <https://data.worldbank.org/indicator/IC.BUS.NREG?locations=SA>

JETRO 投資促進機関 https://www.jetro.go.jp/world/middle_east/sa/invest_01.html

JETRO 商業省から知的財産局 (SAIP) へ、商標権の執行権限の移管完了 <https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/07/d03c8f1bcbf50095.html>

Arab News (2021/5/26) "Riyadh among world's most ambitious entrepreneurial citiesArabian Business" (2022/10/8) "Why Riyadh is 'best city for startups in the Middle East'"

投資省 (Ministry of Investment) : <https://www.misa.gov.sa/ar/> サウジアラビア知的財産局 (SAIP) : <https://saip.gov.sa/> 商業省 (Ministry of Commerce) : <https://mc.gov.sa/en/Pages/default.aspx>



建設業

サウジアラビアは経済の多様化とビジョン 2030 に向けて未来都市プロジェクトの建設を進めている。2020 年度の建築許可数は国内全体で 145,661 件、そのうちリヤドは 36,761 件で全体の 25.2% を占めた。調査会社 MEED Projects によると、2022 年の中東・北アフリカ地域全体の建設受注総額 870 億ドルのうち、サウジアラビアは 35% の 310 億ドルを占め、最も強力な市場としての地位を維持している。また、ムハンマド・ビン・サルマン皇太子兼首相は新ムラツパ開発会社を設立。リヤドで世界最大規模の近代的なダウンタウン開発することを目的とし、リヤド北西部を中心に大規模な開発を行う。さらに巨大ランドマークとして高さ 400mX 幅 400m、長さ 400m からなる「ムカーブ」を建設することを発表した。



金融

出所: JLL (2022) "KSA Construction Market Intelligence Q4 2022"

地方自治体省 (Ministry of Municipal and Rural Affairs) : <https://momrah.gov.sa/en>

Argaam (2021) "Saudi Arabia issues over 145,700 building permits in 2020"

<https://www.argaam.com/en/article/articledetail/id/1475901>

Arab News (2022/12/8) 経済の多様化に伴い、サウジアラビア王国の建設業界は中東・北アフリカ地域をリード

JETRO ビジネス短信 (2023/2/20) リヤド市北西部の大規模開発が明らかに

リヤドのキングアブドゥッラー金融地区 (KAFD: King Abdullah Financial district) は、サウジアラビアにとっての重要な金融地区であり、経済の多様化への貢献している。金融機関を中心に複合施設やホテルなども備え、湾岸地区の金融センターになっている。

2021年にサウジアラビア全体の銀行支店数は1,945店で、リヤドでは国内で最も多い588店の銀行が営業している。サウジ中央銀行 (SAMA) によると、2021年に16店が新たに開店し、85店が閉店した。国内全体の店舗数は毎年減少している傾向にある。

2023年2月現在サウジアラビアには、11行の国内銀行 (サウジナショナル銀行、サウジ英国銀行、サウジ投資銀行、リヤド銀行、アルラジ銀行など) の他、日本の銀行を含む22行の海外銀行、3行のデジタル銀行が認可されている。

出所: サウジアラビア中央銀行 Saudi Central Bank (Sama) Annual Report 2021

https://www.sama.gov.sa/en-US/EconomicReports/AnnualReport/ANNUAL_Report_57th_2021.pdf

Monthly Bulletin Jan 2023 <https://www.sama.gov.sa/en-US/EconomicReports/Pages/MonthlyStatistics.aspx>

商業銀行支店数

年度	リヤドにおける支店数	国内総数	国全体の割合
2017	631	2069	30.40%
2018	629	2064	30.40%
2019	626	2076	30.10%
2020	612	2014	30.30%
2021	588	1945	30.20%
2022	590	1927	30.61%

出所: サウジアラビア中央銀行 Monthly Bulletin Jan 2023 から作成



Consumer Market

消費市場

2018年から政府は燃料と電力に関する補助金を段階的に削減し、2025年までに現地価格を地域価格と同水準にまで引き上げる政策を導入した。その結果、燃料の価格と電力の税金が引き上げられた。さらに2018年1月1日から、食品、衣類、タバコ、ソフトドリンク、宿泊施設など、ほとんどの商品とサービスに15%の付加価値税を導入した。その結果、様々な面で支出に対する意識が高まっている。特に食品や衣類などの生活必需品などの支出にも影響を及ぼしており、価格に見合った価値がある商品を求めている。現在の年齢中位層が31.3歳と若く、好奇心旺盛で、自分のニーズに合った商品を見つけるため、さまざまな製品やブランドを試す。

また、スポーツのインフラストラクチャーやアクティビティに資金を提供するスポーツ開発基金が設立されたことや、女性のスポーツ禁止令の緩和など、健康的なライフスタイルを推奨する政府の取り組みにより、健康とウェルネスを重視する消費者が増えている。さらに、サウジアラビアの消費者が利便性の高いEコマースのサイトを利用する頻度は他国より高い傾向にあり、インターネットで食品を購入する消費者が増加している。またコロナ禍にてウイルスに罹患しないための策として食生活改善を行うなど、健康を重視する消費者が増えている。低脂肪、食物繊維が豊富、オーガニック、低カロリーといったヘルシーな食品や果物やハーブティーの消費も増えている。

世帯統計



世帯数
2018年は合計で
604万世帯



世帯の規模
2018年の世帯ごとの
平均人数は
5.6人



可処分所得
世帯当たり中央値
36,151.8ドル
(2018年)



世帯当たりの消費支出
年間平均
45,521.9ドル
(2018年)

出所：JETRO(2020) サウジアラビアにおける消費行動調査
https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/3353057625765e47/20190035.pdf

消費者のセグメンテーション - 年齢別人気商品

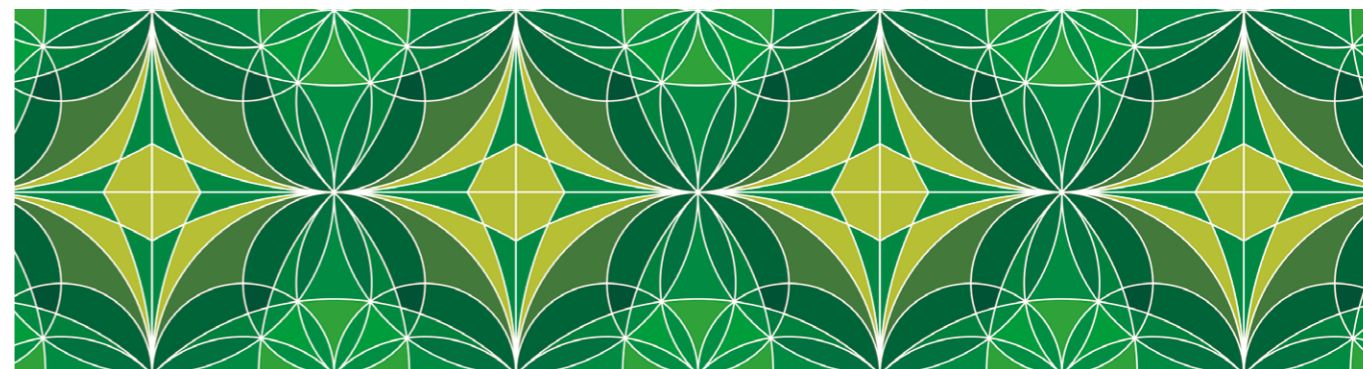
消費者のセグメンテーション	年齢層(歳)	人気のある製品とサービス
乳幼児	0～2歳	乳児用調合ミルク、お風呂・シャワー用品、保湿クリーム、ベビー用フレグランス
児童	3～7歳	玩具・ゲーム、アニメやマンガがテーマの洋服(女児は「アナと雪の女王」、男児は「スターウォーズ」や「カーズ」)
トゥイーン	8～12歳	ビデオゲーム、Kポップ関連のグッズ
ティーン	13～17歳	洋服やコスメ(女子)、電子機器(男子) 一般:学用品・文房具、制服、スマートフォン、ランドセル、ノートパソコン、iPad(学習の予習・復習)、スポーツ用品・サービス
若年成人	18～29歳	若年成人:映画、コンサート、ダンスパフォーマンス、モンスタートラックラリー
若年層	30～44歳	一般:ジム・フィットネスセンター、ファッション用品と小物、パーソナルケアサービス(例:美容エステやスパトリートメントなど)、公共料金を含む日用品とサービス(一家の稼ぎ手なので)、家具と調度品。
中高年層	45～64歳	高齢になるため、自動車や不動産投資
熟年層	65～79歳	医療・健康関連の商品を含め、年齢にかかわる商品やサービス、またこれらの層の関心に合わせたクラブや協会
老人	80歳以上	老人ホームおよび高齢者介護施設、関連サービス

出所：JETRO(2020) サウジアラビアにおける消費行動調査
https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/3353057625765e47/20190035.pdf

リヤドの商業施設

Mixed-use Facilities in Riyadh

リヤドの商業施設は大型複合施設がメインとなっており、リージョナルモールは小売供給全体の47%を占め、スーパーリージョナルモールは17%を占めている。モールの大部分はスーパーマーケットと家族向けエンターテインメント施設で25のモールに分散され、2021年の超大型モールの総面積は140万平方メートルと推測される。それぞれの面積平均は、リージョナルモールで平均5,300平方メートル、スーパーリージョナルモールで平均8,000平方メートルである。その他に映画館も多くを占めており、エンターテインメント施設が、リテール環境において大きな役



割を果たす可能性が高い。スーパーやエンターテインメント施設以外には、デパートやファストファッションがアンカーテナントとして入居する。

E コマースの人気は高まり続けているが、サウジアラビアは日中の暑さが厳しく、屋外でのレジャー活動に制限があるため、エアコンのかかったショッピングモールでのショッピングがレジャーの場として活用されている。

リージョナルモール

大型総合スーパー等を核テナントとして、50店以上の専門店を有する広域商圏型ショッピングセンター。車で24-30以内の商圏規模と、商圏人口15-20万人ほどを対象としている。幅広い業種とテナントが揃った1日中滞在できる「時間消費型」の商業施設。

スーパーリージョナルモール

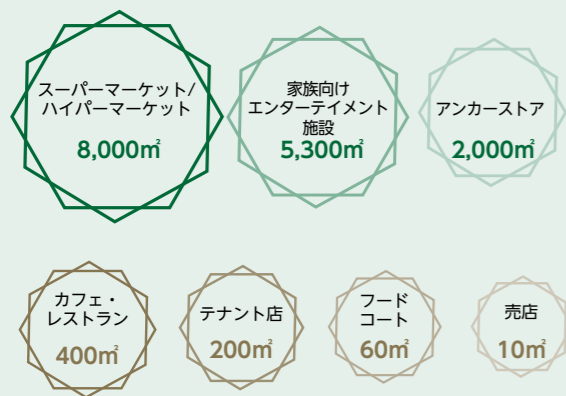
リージョナルモールよりも2-3倍の総敷地面積をもち、総合スーパー以外に高級専門店や百貨店の4-6核で構成され、150店以上の専門店を有する。商圏規模や商圏人口はリージョナルモールと同じ。



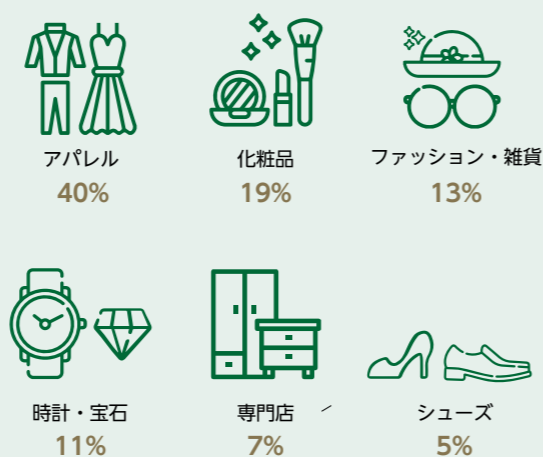
エンターテインメント

サウジアラビアのエンターテインメントシーンは、2016年に設立されたGEA (General Entertainment Authority、総合娯楽局)の活動によって大きく変化してきた。GEAは、サウジアラビアの娯楽産業の成長を促進し、市民や観光客に多様で優れた娯楽体験を提供すること、そして国内外からの観客を魅了する世界的なエンターテインメントを中心とした観光地にすることをビジョンに掲げている。また、GEAはサウジアラビアの総合娯楽産業を促進し、国内外からの観客を魅了する世界的な娯楽目的地にすることを使命としており、エンターテインメント産業において若い才能を育成するための「Makers of Happiness」というイニシアチブも開始した。GEAは、今後10年間にエンターテインメント関連のインフラストラクチャへの投資が640億ドルに達し、エンターテインメント産業が2030年までのGDPへ約50億ドル貢献し、224,000の新しい雇用が生み出されると予測している。

リージョナルモール及びスーパーリージョナルモールにおけるカテゴリ別平均床面積



リージョナルモール及びスーパーリージョナルモールにおける販売商品ごとの店舗構成比



出所: Knight Frank (2022) Retail Therapy in Riyadh, JETRO (2023) サウジアラビア投資環境市場調査-小売業-
https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/41ad54c1ba7cc5f2/20220066.pdf

国をあげてエンターテインメントに注力していることから、サウジアラビアの商業施設は、買い物をするだけの場所というより、一日中楽しめるエンターテインメント施設に変化している。ボーリングやビリヤードができる施設、ゲームセンターや室内遊園地なども大変充実している。2018年4月には映画館がオープンし、35年間禁止されていた映画館が復活した。映画館があるのは、ショッピングモールのなかが多く、ハリウッドの映画からインドのボリウッド、エジプトなどのアラブ映画など、さまざまなジャンルのものが上映されている。また、最近では、サウジアラビアオリジナルの映画制作を促進するため、国が投資を映画業界へ投資を行っている。映画はエンターテインメントとして人気があり、サウジアラビアの興行収入は2021年に2億3,800万ドルに達し、2020年から95%増加した。



640 億ドル

今後10年の
エンタメインフラへの投資



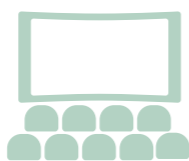
224,000人

今後10年のエンタメ関連の
雇用人数



2億3,800万ドル

映画興行収入(2021)



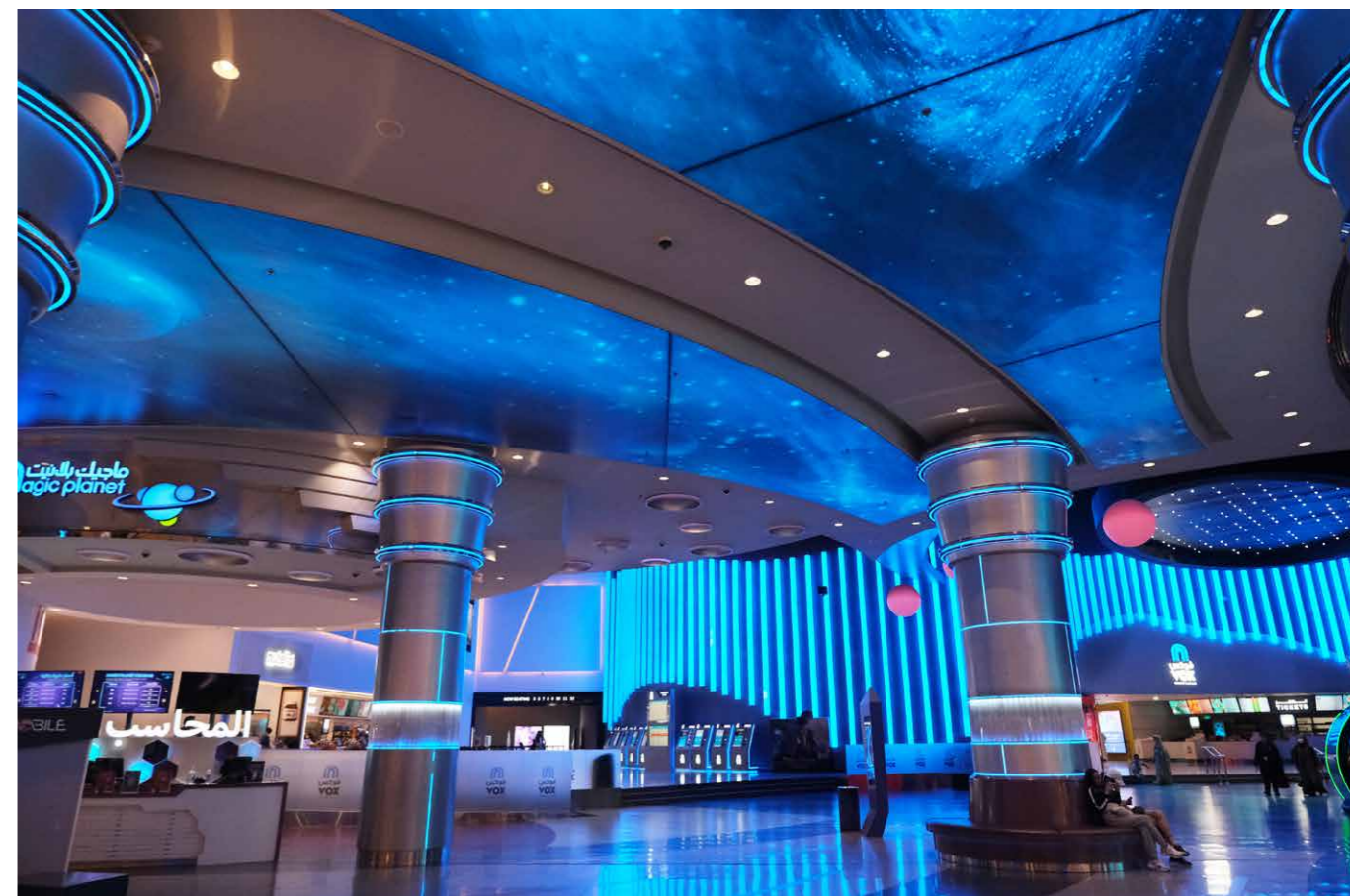
500スクリーン数以上

2030年までの映画スクリーン数目標

出所: GEA(General Entertainment Authority) <https://www.gea.gov.sa/en/>

JETRO (2018年12月) エンターテインメントに関する資料 [Saudi Entertainment] をSAGIA、GEA等が公表 https://www.jetro.go.jp/ext_images/world/middle_east/sa/sj-visionoffice/activities/shiryu201812_1.pdf

Mohammed Bin Salman Foundation, Saudi Film Festival returned for a successful 8th edition <https://hub.misk.org.sa/insights/education-career/2022/saudi-film-festival-returned-for-a-successful-8th-edition/?allowview=true>



コンテンツとしての日本文化

サウジアラビアの消費者は、日本の製品を最先端テクノロジー、コストパフォーマンスなどに関して高く評価している。自動車や家電製品に限らず、日本製品全般に高い品質イメージがあり、それが差別化にもつながっている。日本のアニメやゲームの影響で、娯楽として楽しむ日本文化が注目されている。日本のアニメは、品質が高く、多様性やオリジナリティに富んでいるため、サウジアラビアでも人気が高い。サウジアラビア政府主催の大型エンタメイベント「リヤド・シーズン 2022」では、日本のアニメ作品やカルチャーを集約した「ジャパンアニメタウン」が開設され、注目を集めた。日本を想起させるコンテンツの体験で、実際に日本へ観光してみたいといった意欲の高まりも来場者から伺えた。

その他に、日本のスイーツも注目を集めている。現地では日本食といえば圧倒的に寿司が有名であるが、抹茶味のミニタルトやシュークリーム、菓子パン類、中東風のフレーバーを取り揃えたアイスクリームを餅で包んだ「餅アイスクリーム」、スフレチーズケーキなどを取り扱う店舗が次々に開店した。日本を訪れた際に食べたスイーツに感激し、それらをサウジアラビアでビジネス展開を考えるサウジアラビア人も少なくない。

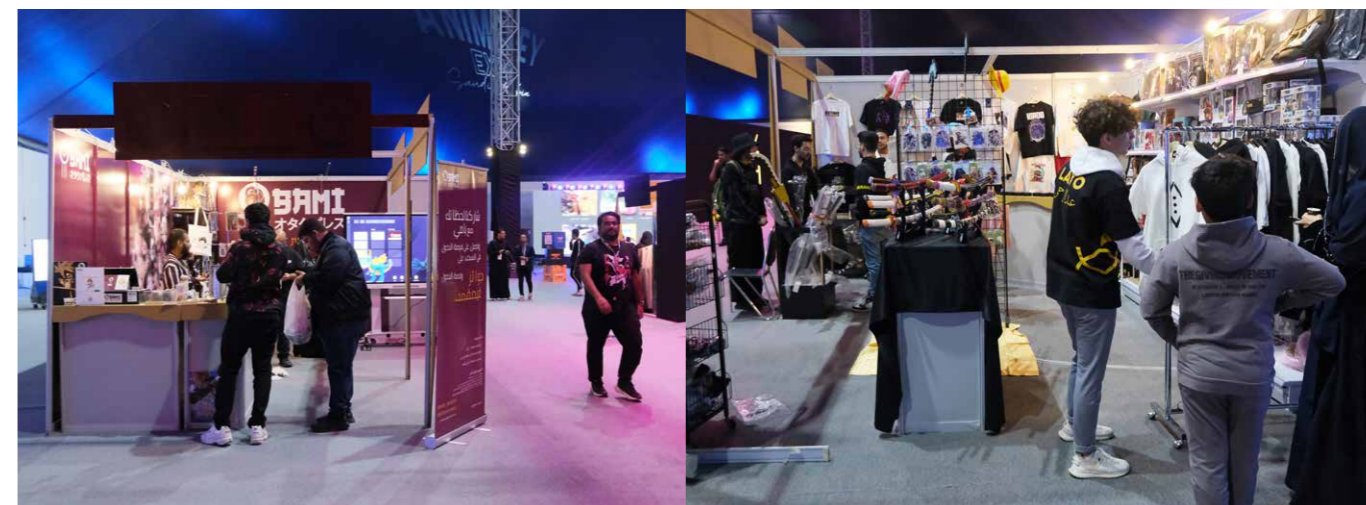
出所：JETRO（2019年2月）サウジアラビアの有望産業（エンターテインメント産業）についての 投資環境・市場調査 https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/7a1b2f8086cd8843/20180045_02.pdf

JETRO（2020）サウジアラビアにおける消費行動調査 https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/3353057625765e47/20190035.pdf

JETRO（2021年7月12日）地域・分析レポート
特集：変わりゆく中東とビジネスの可能性日本の人気アニメの正規版をネット配信 <https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2021/0701/5a4bf5520f4c1d6d.html>

JETRO（2020年8月28日）地域・分析レポート
日本のスイーツの味をサウジアラビアにもリヤド市内にオリジナルブランドの店舗が開店 <https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2020/858589c106317b5d.html>

ジャパンアニメタウン実行委員会（2022年11月22日）＜「ジャパンアニメタウン」開幕＞
エンタメカルチャーが多様化するサウジアラビア 日本を代表するアニメ作品の展示や体験コンテンツを公開 https://kyodonewsprwire.jp/prwfile/release/M107450/202211220159/_prw_OR1fL_RCzRz7sQ.pdf



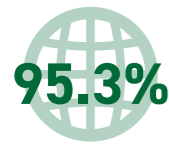
e コマース

2018年7月、政府は電子商取引協議会 (E-Commerce Council) を設立した。この協議会は消費者に e コマースを奨励し、起こり得る課題に対する解決策を提供するため、電子商取引に関する政策や法律を提言する。政府が e コマースを支援しているだけでなく、インターネットの利用率やスマートフォン の普及率の高さ、働く女性の増加、時間に制約のあるサウジアラビア人にとって E コマースは魅力的な手段となっている。食品のほか、ファッションや電子機器、玩具などのセクターで e コマースが盛んである。ちなみにサウジアラビアは、世界で30番目に大きい e コマース市場で、2021年の収益が99億ドルだった。サウジアラビアの e コマース市場で最大のオンラインストアは、2021年の収益ベースで以下であり、上位3店舗でサウジアラビアのオンライン収益の5%を占めている。サウジアラビアの E コマースインフラは成熟しつつあり、企業は配達コスト・時間を削減するための投資を行っている。サウジアラビア人の人口の大部分はアラビア語が母国語のため、アラビア語での E コマースが必要不可欠となっている。

出所：JETRO(2020) サウジアラビアにおける消費行動調査
https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/3353057625765e47/20190035.pdf

JETRO (2023) サウジアラビア投資環境市場調査—小売業—
https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/41ad54c1ba7cc5f2/20220066.pdf

インターネット・携帯電話事情



インターネットにアクセスできる家庭



ブロードバンドインターネットにアクセスできる家庭



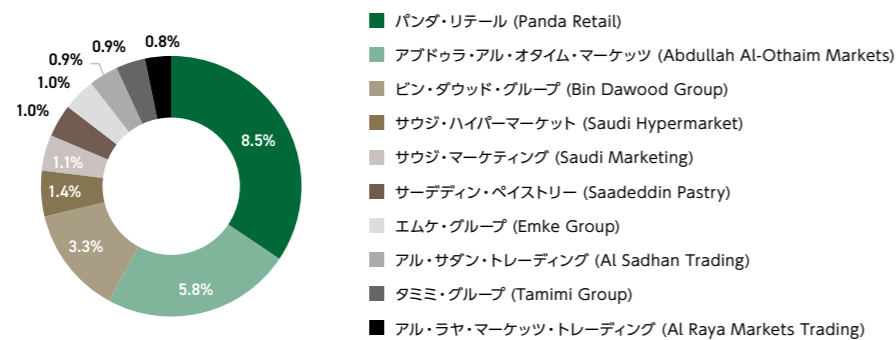
携帯電話を持つ家庭



PCを使用できる家庭

出所：JETRO(2020) サウジアラビアにおける消費行動調査
https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Reports/01/3353057625765e47/20190035.pdf

小売売上高の市場シェア (%) で見たサウジアラビアの大手 E コマース小売企業



出所：ユーロモニターインターナショナル

化粧品市場

The Cosmetic Market

近年の小売業界において、サウジアラビアで特に成長が著しい市場は香水市場である。2022年3月にリヤドで開催された見本市「第三回ビューティーワールドサウジアラビア」では、美容化粧品、ヘア、香水、ウェルネス商品などが幅広く展示された。

国際市場調査会社のユーロモニター・インターナショナル (EMI) によると、サウジアラビアの美容およびパーソナルケア市場は2022年に小売価格で55億米ドルに達する見込みで、2021年の推定53億6,000万米ドルを2.6%上回る。さらにサウジアラビアの1人あたりの支出は2022年に164米ドルに達し、中東地域全体でアラブ首長国連邦(229米ドル)に次ぐ第2位になると分析された。

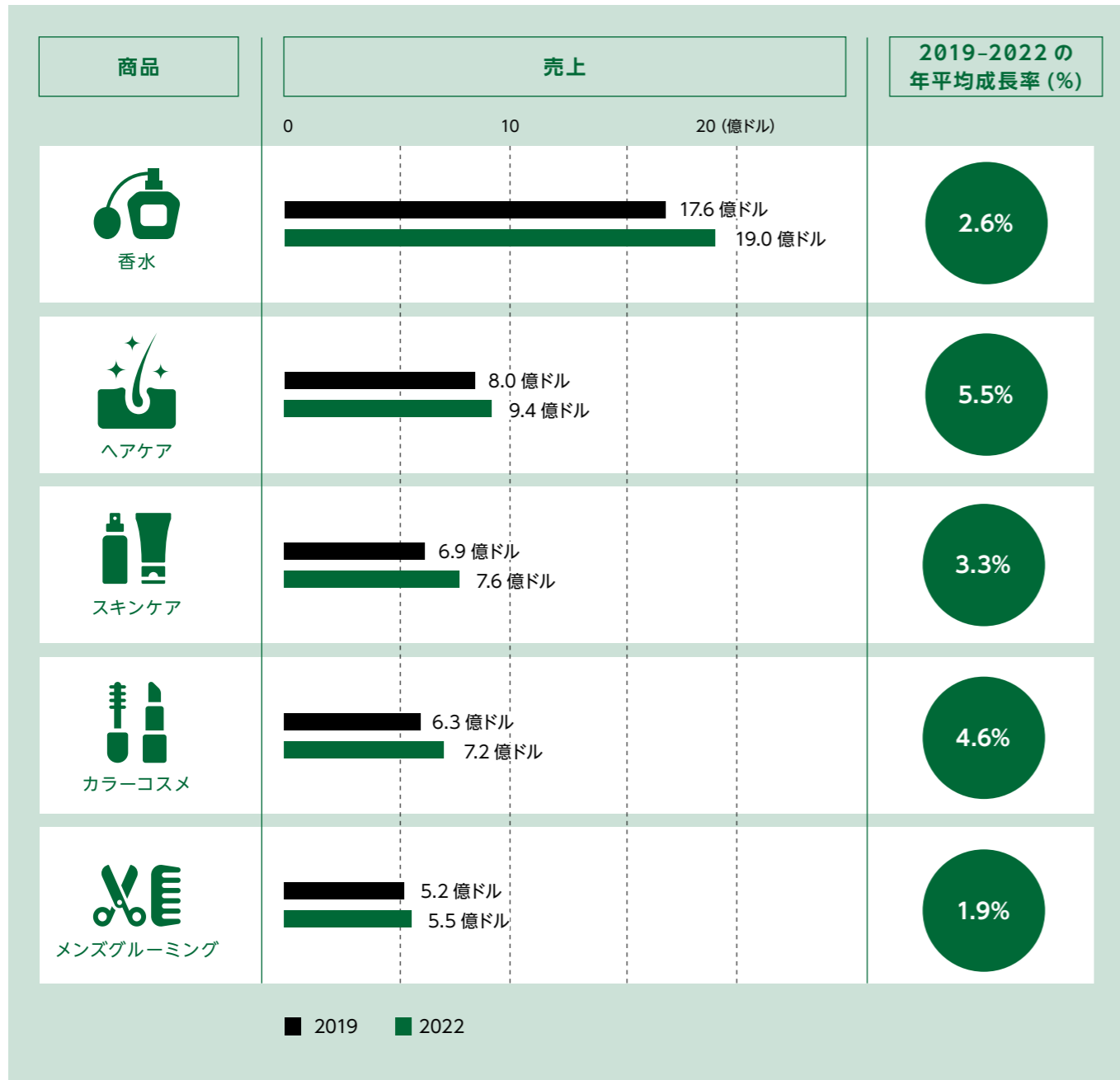
特に香水市場はサウジアラビアの美容パーソナルケア商品の中で最も大きなシェアを占めており、2022年には小売額が15億6,000万ドルに達し、2021年の14億9,000万ドルから4%増加した。それに続いて、ヘアケア(10億1,000万ドル)、スキンケア(7億3,800万ドル)、メイクアップ化粧品(6億4,100万ドル)、男性用化粧品(5億4,200万ドル)の順になっている。また、サウジアラビアは中東及び北アフリカ地域(MENA)で最大の化粧品市場を有し、地域全体の約16%を占める。さらに、化粧品の規制当局であるサウジアラビア食品医薬品庁(SFDA)には、2022年1月時点で約6万9千点の化粧品が登録されている。

米国調査会社のモルドールインテリジェンスによると、サウジアラビアの化粧品市場は、天然/有機商品、ハーバル商品、ハラール商品、環境に優しいパッケージデザインなどの新商品に対する需要の高まりが市場成長の要因となっている。過酷な気候条件、水質の悪さ、個人の健康への関心の高まりも、美容とパーソナルケア商品の需要を増加させている。

出所：Messe Frankfurt (2022) "Beautyworld Saudi Arabia 2022 opens as local and international beauty industry descends on Riyadh",

JETRO (2022) サウジアラビアにおける化粧品市場の概要





出所: Messe Frankfurt 社
<https://beautyworld-saudi-arabia.ae.messefrankfurt.com/ksa/en/press/press-releases/2022/2022-03-21.html#share>



複合商業施設および地域開発

Mixed-Use and Regional Development

地図	複合商業施設	総賃貸面積 (平米)	概要	ウェブサイト
1	Boulevard Riyadh City	900,000	エンターテインメントを中心とした広大な複合商業施設。他国の文化や収集品を展示する博物館や、映画館、電気自動車のサーキット、コンサートやショーのための劇場、スポーツ施設、カフェ、レストランなどがある。毎年恒例の Riyadh Season エンターテインメントフェスティバルの会場でもある。2023 年に Japan Anime Town がオープンした。	https://riyadh-season.sa/index-en.html
2	Al Nakheel Mall	75,353	高級ブランドショップ、レストラン、カフェ、1,700 人の観客席を備えたラグジュアリー席オプションもある映画館などが入居。噴水や子供用のプレイエリアなどもある。フードコートでは、主要ファーストフードチェーンに加え、世界各国の食事が楽しめる。	https://mall.cenomicenters.com/en/malls/alnakheelmallriyadh
3	Kingdom Center	41,000	モール、ホテル、オフィス、高級マンションで構成される高さ 302.3m の超高層ビル。ショッピングモールには 150 を超える店舗や映画館があり、飲食店も充実している。	http://kingdomcentre.com.sa
4	Granada Center	122,000	有名ファストファッションアパレル、フランス系スーパーマーケット、イギリス系百貨店、多種多様なファーストフードチェーン店が入居。中流階級の家族連れが多く訪れる。近年拡張工事が行われ、ホテルやレストラン街やオフィスなども追加。	https://granadia.sa
5	Riyadh Gallery Mall	118,500	市内北部の主要道路の 1 つに位置する、2007 年にオープンしたモール。昔からある庶民的なモールとして、家族連れに人気。充実したショッピングや飲食店に加えて、家族向けのエンターテインメントを提供する。	http://www.riyadhgalleries.com/
6	Riyadh Front	66,600	大型展示会場に隣接するオフィスと商業が融合した、モダンな建築デザインの複合施設。高級ブランドから国内外のレストランやカフェ、映画館もあり、他にはないブランドも数多く入居する。	https://riyadh-front.com/Home
7	QASR Mall	85,000	4階建のモールの中には、350 の小売店、エンターテインメント、フードコートが入居し、35,000 平米に及ぶの屋内オープンスペースや広い内廊下が特徴。家族向けで、さまざまなレクリエーションやイベントを時々開催している。	https://qasrmall.com/en/
8	The Boulevard	20,000	店舗・レストラン、5つ星ホテル、ジム・スパのほかオフィススペースを併設する屋外型モール。	https://theboulevard.com.sa/en/
9	Al Hamra Mall	56,000	2階建てのモールには飲食、エンターテインメント施設、映画館や欧米系のファッションブランドを中心に 169 店舗が入居。	https://mall.cenomicenters.com/en/malls/alhamra-mall



10	The View Mall	52,200	ファッション、化粧品、飲食、映画館、エンターテイメントなど、海外ブランドや地元ブランドを含む 170 のショップが入居。2021 年オープン。	https://mall.cenomicenters.com/en/malls/theview
11	Park Avenue	66,000	2022 年にオープンした多くの有名ブランドを扱う近代的なモール。映画館や子供向けエンターテイメント施設、ハイパーマーケットなどもあり、400 メートルの屋外通路にレストランやカフェが面しているのが特徴的である。	https://shopping-center-30442.business.site/?utm_source=gm-b&utm_medium=referral
12	Riyadh Park	92,000	ファッション、化粧品、宝石、家具、電化製品の店舗や、ハイパーマーケットなど、日用品や高級品まで揃う。国内外のレストランやカフェ、映画館、エンターテイメント施設もある家族向けの大規模施設。	https://riyadh-park.com
13	Mode Mall	35,000	2000年にリヤドのランドマークとしてオープンした267メートルのタワー、キングダムタワーが一層できる屋外デッキと高級ホテルに付随するモール。高級ブランド店や英国系高級デパートが入居している。2021年に大規模改修を経て再オープン。	https://mode.sa
14	Panorama Mall	80,365	2008年オープン。ハイパーマーケットや、英国系の百貨店、有名玩具店、ファストファッション、映画館等が入居する。多数のファーストフードチェーンの他に、高級レストランやカフェもありバラエティに富んでいる。中流階級の家族連れに人気。	https://panorama-mall.com
地図	開業予定の複合商業施設	総合賃貸面積 (平米)	概要	ウェブサイト
15	Mall of Saudi	296,000	2026年にオープン予定。600の店舗、275室の5つ星ホテル、エンターテイメント施設や9,000平米のハイパーマーケットが入居予定。1万台収容の駐車場や、中東最大(40,000平米)の屋内スキー場なども計画に組み込まれ、大規模な次世代モールを目指す。	https://www.mallofsaudi.com

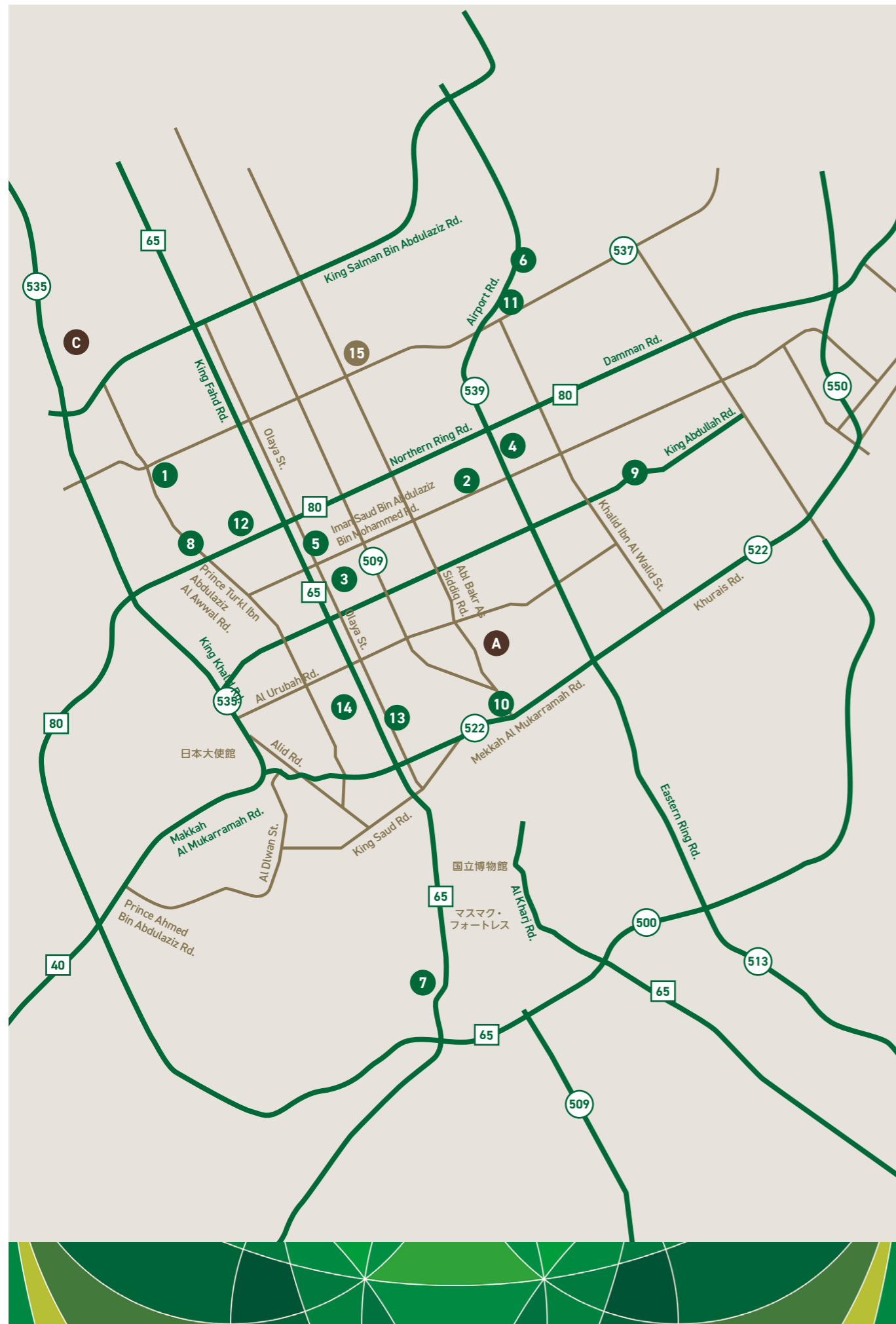
出所：各施設や運営会社のウェブサイトの情報を編集、
The Middle East Council of Shopping Centres & Retailers、KPMG(2016) Riyadh Real Estate Market Overview
※各施設や運営会社のウェブサイトは 2023 年 3 月時点



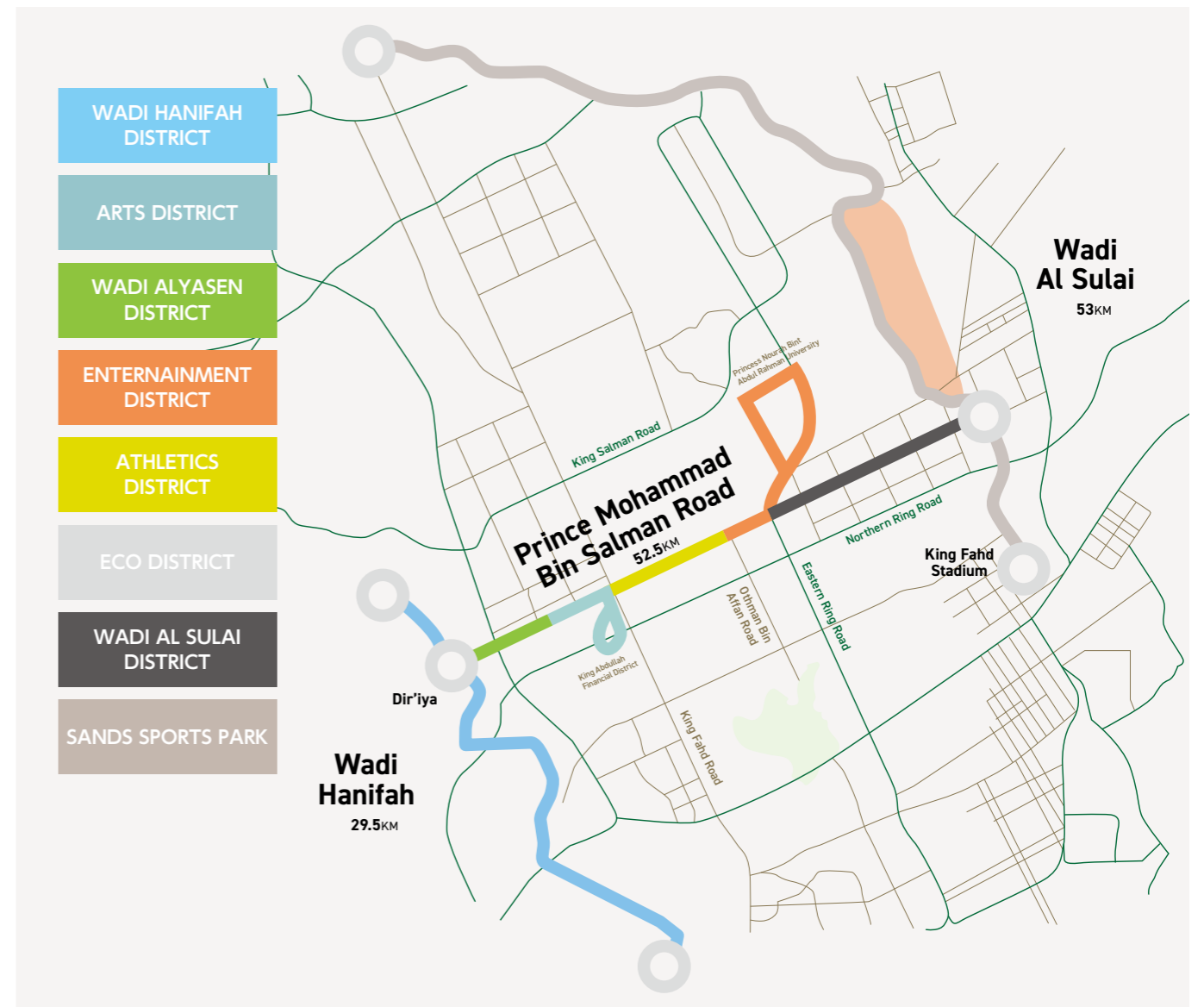
地域開発			
地図	名称	概要	ウェブサイト
A	King Salman Park Project	すべてのリヤド住民のライフスタイルの変化と改善に貢献することを目的とした、面積約 16 平方キロメートルの世界最大の都市公園。公園内には、美術館、国立劇場、オペラハウス、アートアカデミー、ギャラリー、広大な緑地、広場、スポーツ施設やゴルフコースなどが含まれる。	https://kingsalmanpark.sa/en
B	Sports Boulevard	Sports Boulevard は、市民が健康的なライフスタイルを維持し、スポーツやアウトドア活動に積極的に参加することを奨励するために、設計された 135km に渡る道路。サイクリングや乗馬のトラック、ジョギングトラックが 48 の緑地とオープンスペース、イベント会場、野外博物館、映画館、そしてスポーツや文化に関する施設をつなぐ。	https://sportsboulevard.sa/en/
	Green Riyadh Project	リヤドの空気質を改善し、気温を下げることを目的に、市内全域に 750 万本の木を植え、1 人あたりの利用可能な緑地面積を 1.7 平方メートルから 28 平方メートルに増やす計画。すべての緑化活動は、リサイクル水を利用した灌漑ネットワークから水を撒く予定。	https://www.rcrc.gov.sa/en/projects/green-riyadh-project
	Riyadh Art	パブリックアートに対する世界最大規模の政府投資プロジェクトで、地元や国際的なアーティストによる 1,000 以上のインスタレーションアートで、リヤド市内の公共スペースを芸術的に魅力的なものに変えることを目的としている。	https://www.vision2030.gov.sa/v2030/v2030-projects/riyadh-art/
C	New Murabba	2023 年 2 月 16 日、ムハンマド・ビン・サルマン皇太子はニュー・ムラバ・デベロップメント・カンパニーの設立を発表し、リヤドに世界最大の現代的なダウンタウンを開発する計画を明らかにした。この計画は、ビジョン 2030 に沿った都市の将来の発展に貢献することを目的としており、サステナビリティをコンセプトに緑地や歩道、サイクリングロードを整備し、生活の質を向上させることを目指す。計画には、博物館、大学、80 以上の娯楽施設、文化施設などが含まれる。また、建物の総床面積は 2,500 万平米で、10 万 4,000 戸以上の住宅、9,000 室のホテル、98 万平米以上の小売スペース、140 万平米のオフィススペース、62 万平米のレジャー施設、180 万平米のコミュニティ施設が計画されている。開発の象徴的なランドマークである、アラビア語で立方体を意味する「ムカアブ」と呼ばれるキューブ形状の建築物は世界最大級であり、200 万 m ² の床面積を有する。内部には螺旋状の塔が建ち、住宅やホテル、商業スペース、レクリエーション施設、小売、文化、観光施設が備えられ、特別な体験を提供する場所となる予定である。	https://newmurabba.com/

出所：各施設のウェブサイトの情報を編集
※各施設や運営会社のウェブサイトは 2023 年 3 月時点





B スポーツブルバードの地図



出所: Sports Boulevard Foundation, Sports Boulevard ウェブサイト





観光 Tourism

サウジアラビアは、世界で14番目に大きい国であり、世界最大の砂漠である「アラビア砂漠」を有するイスラム教国家だ。イスラム教の2大聖地である「メッカ」と「メディナ」があり、世界中から巡礼者が訪れる。

経済の多様化を目指したビジョン2030の下で、政府は観光業を重点分野の1つとして位置付けている。2019年9月に宗教観光以外の人々に向けた観光ビザが解禁され、新たな観光産業規制である「観光法」が公布された。2020年には、新しい観光開発基金を立ち上げ、最大40億ドルを投資すると発表した。2030年までに年間1億人以上の訪問者を迎えることを計画しており、49か国に向けて電子ビザシステム(E-VISA)を開発した。さらに、ユネスコ世界遺産の観光地化、紅海沿岸のリゾートの開発、クルーズラインの開始など、観光産業を強化するための計画を実施している。

コロナウイルスのパンデミックが世界の観光業に深刻な影響を与えた中、サウジアラビアの観光は回復の兆しを見せている。

2021年の海外からのインバウンド観光客は69.1万人で、2022年の大3四半期までは1,050万人で、旅行支出も147億リヤルから623億リヤルに急増した。国内観光者の数は2021年で6390万人、旅行支出が809億リヤル、2022年の第3四半期までに6260万人、支出は710億リヤルで、観光業が同国の経済成長に大きく貢献することが期待されている。



E-VISA

2019年に観光ビザ導入



年間1億人

2030年の
年間訪問者数目標



GDP10%

2030年に観光業がGDPに
占める割合(2022年は4%)



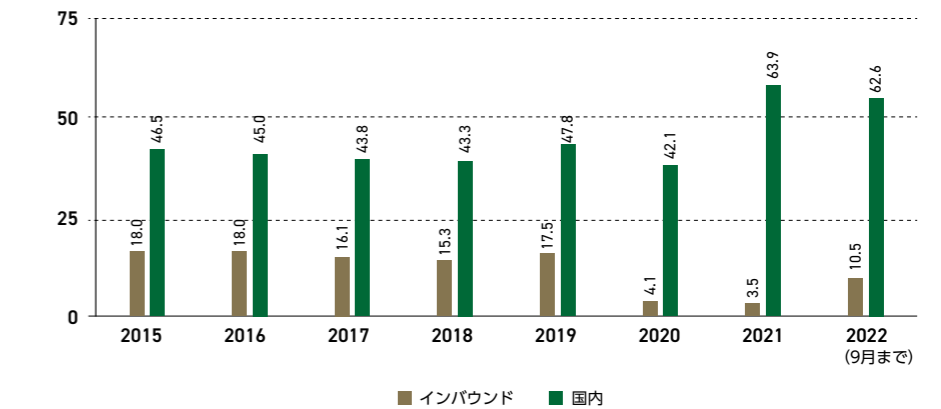
1.1兆ドル

今後20年間の
インフラ投資

出所：サウジアラビア観光省、JETRO(2021)サウジアラビア投資環境・市場調査<観光産業>
Saudi Gazette(January 24, 2023) Tourism sector will add \$70-80 billion to Saudi economy by 2030

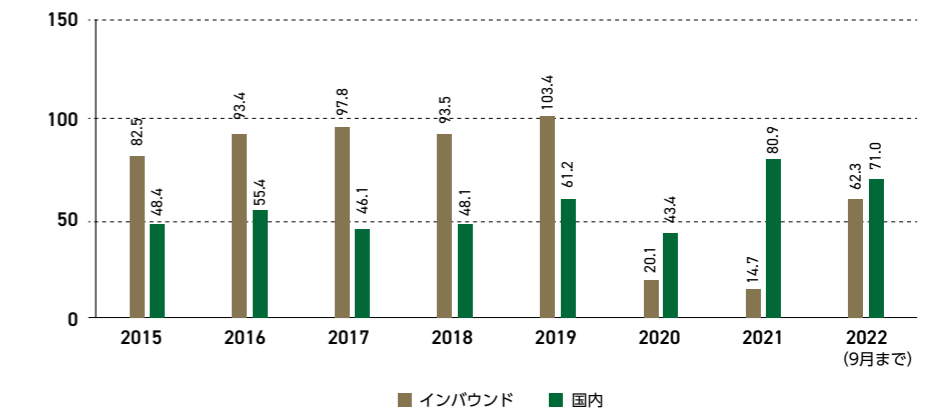
観光客数

単位：百万人



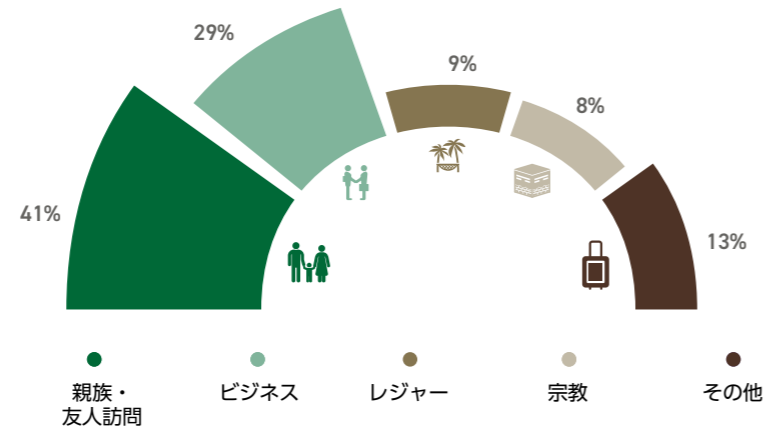
旅行者支出

単位：10億SAR

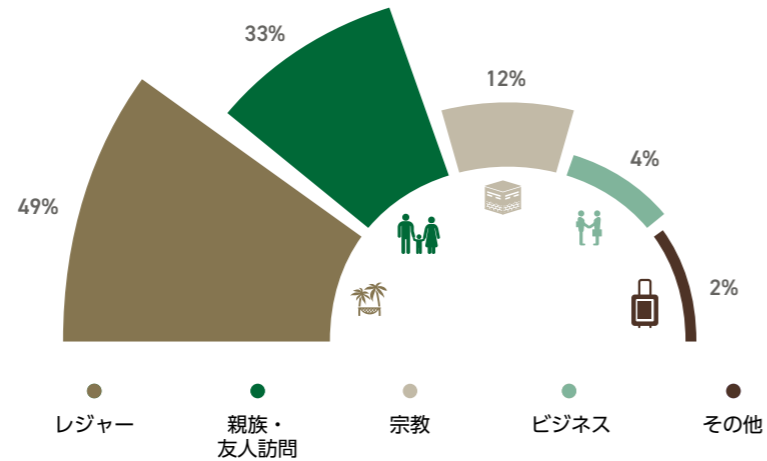


出所：サウジアラビア観光省ウェブサイトの情報から作成
<https://mt.gov.sa/tic/publications>

旅行の目的 (インバウンド)



旅行の目的 (国内)



出所：サウジアラビア観光省 Tourism Statistics in Saudi Arabia 2021 Report

この再開発プロジェクトは、約 18,000 ヘクタールの大規模なプロジェクトで、レストラン、ショップ、ホテル、美術館、居住用施設、レクリエーションスペース、オフィスビルなどが含まれ、活気に満ちたコミュニティ構築が期待されている。最もユニークな点は、サウジアラビアの文化的・社会的遺産に敬意を表し、世界遺産のツライフ地区を中心に、ナジュド地方の伝統的な文化を体験できる建物や街並みがある点だ。建築には、ナジュド地方独特の泥レンガや最新の資材が使われ、現代社会にも適したデザインになっている。300 年前の第一次サウード王国の生活を再現し、伝統文化体験、ナジュド建築と泥を使った建物づくりの技術など、多くの文化的な体験を提供する施設が計画されている。さらに、書道、料理、音楽、鷹狩、乗馬など、当時の村で行われていた活動も体験でき、サウジアラビアが自らの文化、伝統、歴史を世界に紹介し、国際的なイメージ向上につながることを目的としている。また、文化的な要素の他にも、グローバル・ブランドの高級ホテルやレストラン、ショッピングやエンターテインメント施設などの開発が進められている。2030 年までに 2,700 万人の観光客の来訪を目標にしており、総投資額は 20 億ドル以上になる予定だ。

出所：Royal Commission for Riyadh City Historic Addir' iyah Development Program, Arab News デイルイーヤ：過去、現在、そして未来 <https://www.arabnews.jp/diriyah>

Historic Addir' iyah Development Program デイルイーヤ歴史都市再開発

リヤド市の北西に位置するデイルイーヤでは、世界的な文化都市に変貌するための再開発プロジェクトが進行中だ。デイルイーヤは、1744 年から 1818 年にかけて第一次サウード王国の首都で、かつてのサウード家の本拠地があり、王国時代の都市遺跡が多く残っているため、2010 年にユネスコの世界遺産リストに登録された。





衣

Fashion

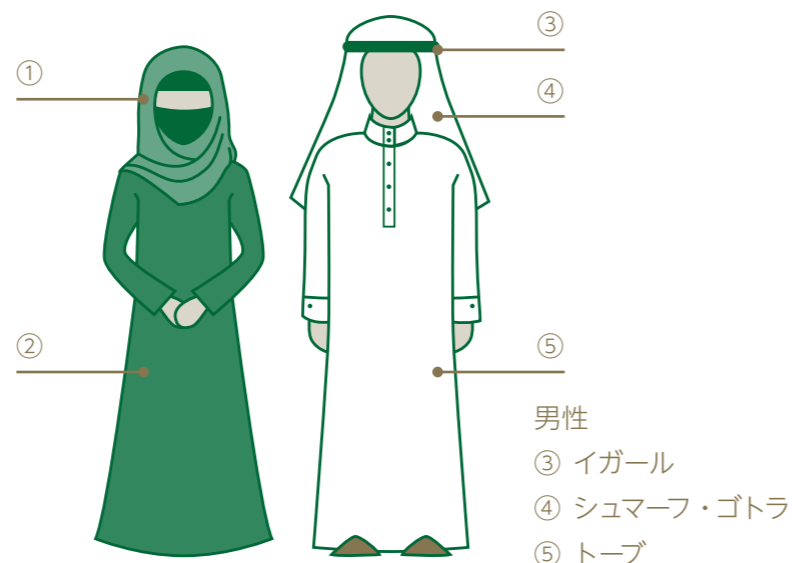
ファッション カルチャー

Fashion Culture

厳格なイスラムの国であるサウジアラビアでは、服装に関する制約がある。女性の肌の露出は禁じられており、人前に出るときや外出時に黒いスカーフ「ヒジャブ」で頭を被い、顔も黒い布「ニカーブ」で被い目だけを出して、「アバヤ」と呼ばれる黒く長いガウンを着用する。最近では、アバヤも黒一辺倒ではなくレースをあしらったもの、様々な色や柄のものなどが流通し、それぞれ趣向をこらしたアバヤを着ている女性が多くなった。アバヤの中に着るものは自由で、女性達は予算に合わせて高級ブランドや欧米系の衣料チェーン店等で購入している。サウジアラビアの女性は流行には敏感で、はっきりとした色調を好む傾向がある。

男性は白く長い「トーブ」と呼ばれる上半身から下半身を覆う一枚の服を着用する。トーブはロングスリーブのものを着用。一般的に白だが、冬になると黒や紺、グレー、茶系など様々な色を着用する人もいる。近隣諸国のトーブと異なる点は、襟のボタンが2つで、袖が普通のシャツのように細い。頭を「シュマーフ」「ゴトラ」という白、又は白と赤のチェックの布で被い、その上に黒い紐の輪「イガール」を乗せる。シュマーフ・ゴトラとイガールは地域により名称は異なる。

アラビア人やイスラムの女性は一般的にアバヤを着用しているが、最近では外国人のアバヤ着用は義務ではなくなったことから、着用をしていない女性も見かけられる。また、アラビア人でも伝統的なアバヤというより、デザイン性の高いコート風の羽織りのなものを着用している。



出所：サウジアラビア政府観光局
<https://www.visitsaudi.com/ja/do/lifestyle/saudi-fashion-and-beauty-trends>
サウジアラビアのファッション関連商品の輸入

女性

- ① ヒジャブ
- ② アバヤ

男性

- ③ イガール
- ④ シュマーフ・ゴトラ
- ⑤ トーブ

サウジアラビアのファッション関連商品の輸入

	輸入額：繊維・衣類用品 単位：USドル\$千
2018年	4,795,242.87
2019年	5,871,796.90
2020年	4,894,365.53

出所：World Integrated Trade Solution, Saudi Arabia Textiles and Clothing Imports by country and region in US\$ Thousand 2020, 2019, 2018

参考：https://wits.worldbank.org/CountryProfile/en/Country/SAU/Year/2020/TradeFlow/Import/Partner/all/Product/50-63_TextCloth

衣類（繊維・アパレル・履物）における1か月の平均家計消費支出額

サウジアラビア人世帯

599 リヤル
(家計全体の 4.1%)

1か月の1世帯平均総家計消費額

14,584 リヤル

外国人を含む全世界

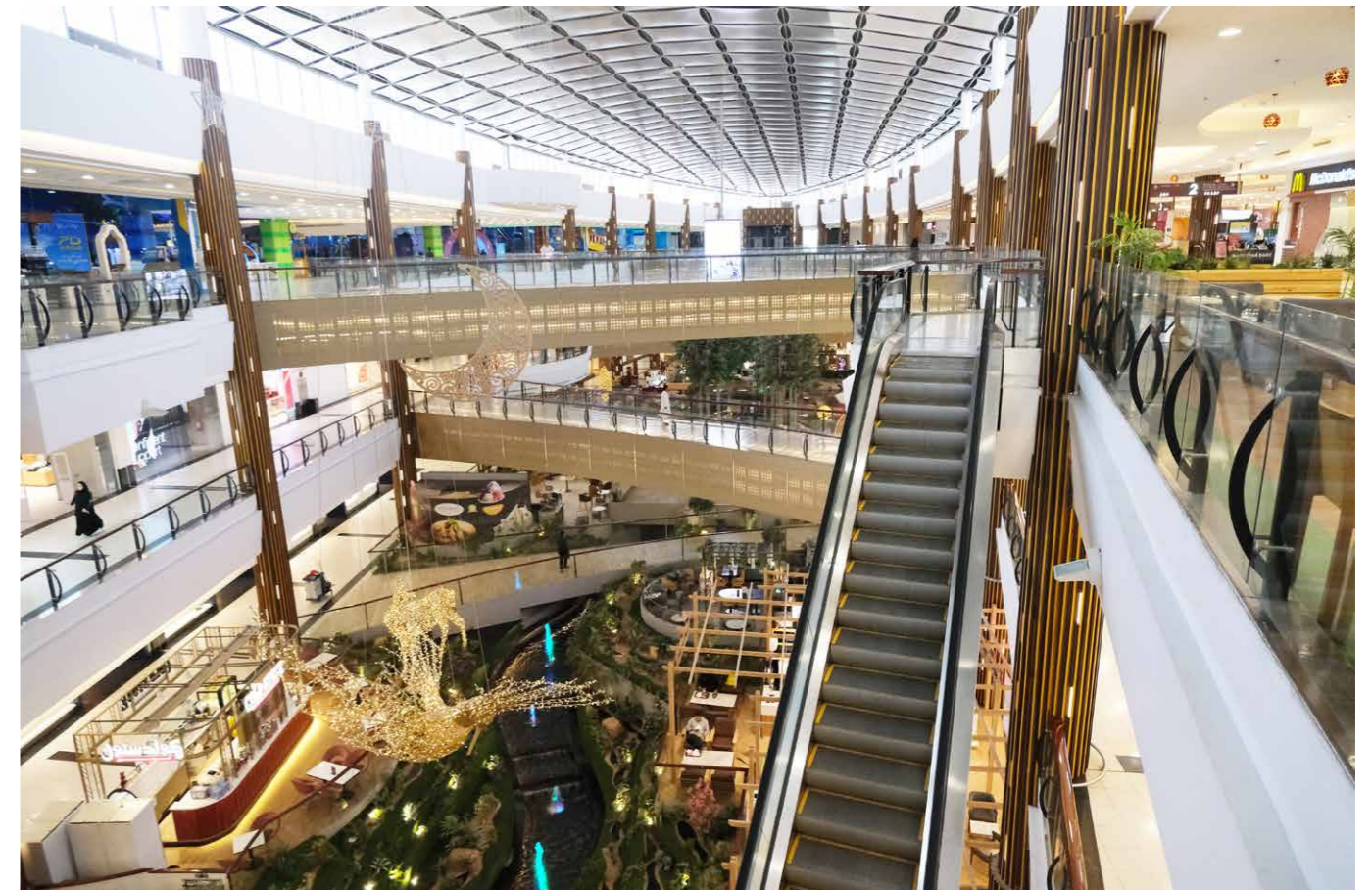
92 リヤル
(家計全体の 4.2%)

1か月の1世帯平均総家計消費額

11,728 リヤル

出所：サウジアラビア統計局 (General Authority for Statistics - GASTAT)

https://www.stats.gov.sa/sites/default/files/household_income_and_expenditure_survey_2018_en_27-6-2019.pdf



ファッション産業

Fashion Industry

女性の就業機会の増加により女性の所得が向上し、ファッションを中心とした女性向け商品の支出が増えている。また、25歳から45歳までのサウジの男性は、ファッションへの意識も高く、洋服や靴・シューズの一流ブランドに強い関心を持っている。近年のサウジアラビアのファッションは日々変化しており、伝統的な優雅さと現代のファッションを取り入れ、独自のスタイルを構築している。リヤドはファッションと美容の新たなトレンド発信地として注目されている。

少し上の世代には今でもクラシックな高級ブランドが好まれるようであるが、今日では高級なものとはカジュアルなものを組み合わせた新しいファッションが増えている。モール内では世界的な高級ファッションブランドから、H&MやZaraなどのファーストファッションなどの大型店が多く並ぶ。

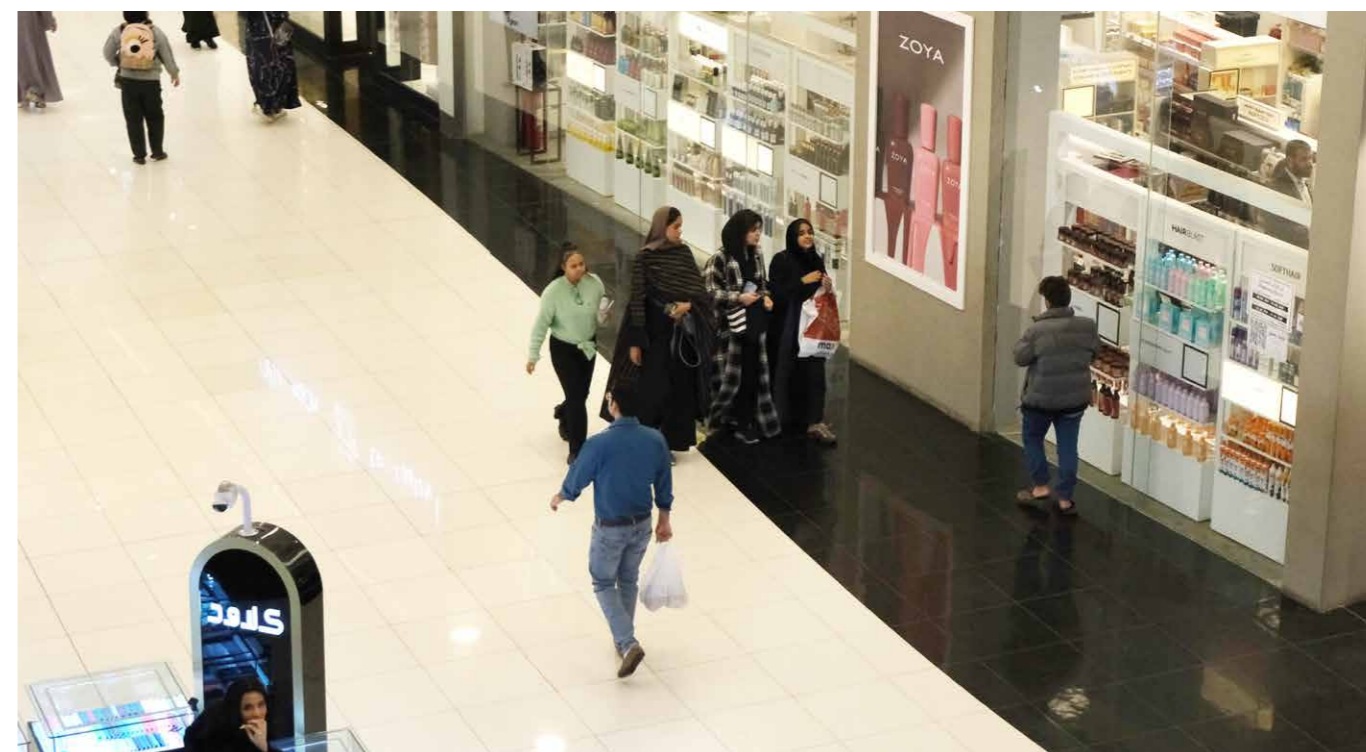
政府による戦略

サウジアラビア文化省のFashion Commission (ファッション委員会) は2019年11月4日と5日に“Fashion Futures”イベントをリヤドで初開催した。現在までに3度開催されている。これは、サウジアラビアのファッション産業の発展とサウジアラビア独自の才能や知見を最大限に活かした新たな戦略を設定し、経済への貢献を目的とした新しいプロジェクトを提案していくものである。また、同委員会はサウジアラビアのデザイナー育成を目的としたプログラム「サウジ100ブランド展示会」を開催。サウジアラビア国内だけでなく、世界各地で巡回展示会を開催するなど、デザイナーの育成に意欲的に取り組んでいる。

参考：サウジアラビア文化省 (Ministry of Culture) Fashion Futures: Building a New Fashion System : <https://fashion.moc.gov.sa/en/events/fashion-futures-building-new-fashion-system>

アラブニュース (2022年11月17日) Fashion Futures launches in Riyadh : <https://www.arabnews.com/node/2201676/saudi-arabia>

JETRO(2020) サウジアラビアにおける消費行動調査





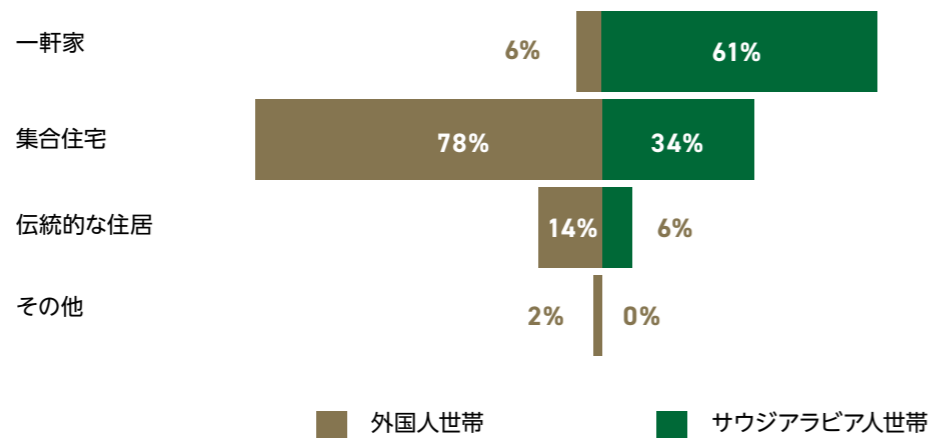
住

Living

住まい事情 Housing & Living

リヤドは人口増加と更なる都市化に伴い、住宅需要が高まっている。2023年の終わりまでに、リヤドの人口は710万人に達し、2025年までには758万人に達する見込みで、リヤドの不動産市場には投資機会が増えるとされている。2022年第3四半期に、リヤドでは約7,800戸の住宅が完成し、住宅在庫は140万戸に達した。さらに、ビジョン2030プログラムの目標の1つは、国民の住宅所有率を70%に引き上げることであり、政府は国民に手ごろな価格で住宅を供給することを目的として「サカニ・プログラム」という住宅プログラムを導入した。このプログラムは、住宅の購入を促進するために、低金利ローンや頭金の補助などの金融支援や、適切な住宅を見つけるプロセスのサポートなど、さまざまな住宅ソリューションを提供する。2022年8月時点で、117,484世帯がこのプログラムの下で提供された住宅に引っ越したことが報告されている。ちなみに、2022年時点での国民の住宅所有率は62%である。

リヤド居住用住宅戸数分布



出所：KPMG (2022) Riyadh Real Estate Market Overview
JLL The KSA Real Estate Market Research | Q3 2022

リヤド市内の住宅購入価格と賃貸料

2022年上半期、集合住宅と一軒家を合わせたリヤドの物件の平均販売価格は、1平米あたり3,865リヤル、賃料は1平米あたり263リヤルだった。リヤド中心地、Olaya、Sulimani-yah、Muruj、Masif、Mursalat 地区の集合住宅は市内で価格が一番高く、一戸あたりの面積、場所、利便性、築年数で価格が変化する。一軒家の価格は中心部及び北部が高い傾向にあるが、高級住宅街の開発により西部の一部で価格が上がった。

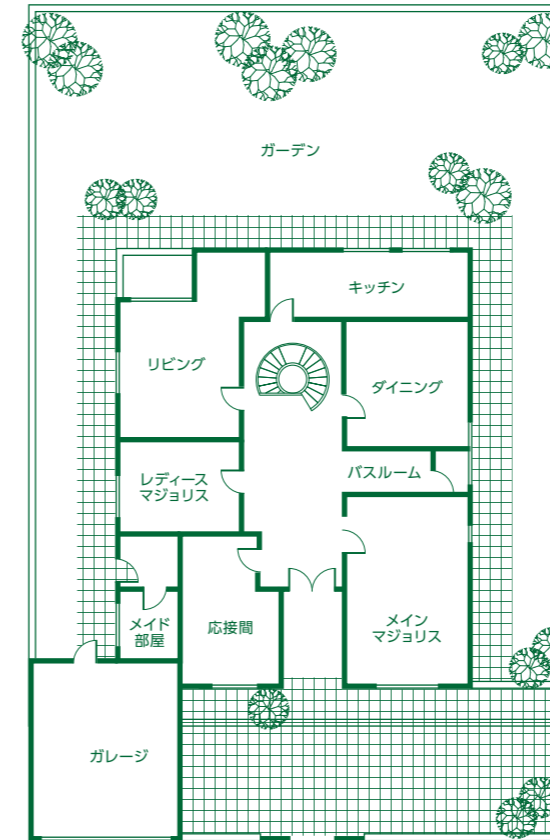
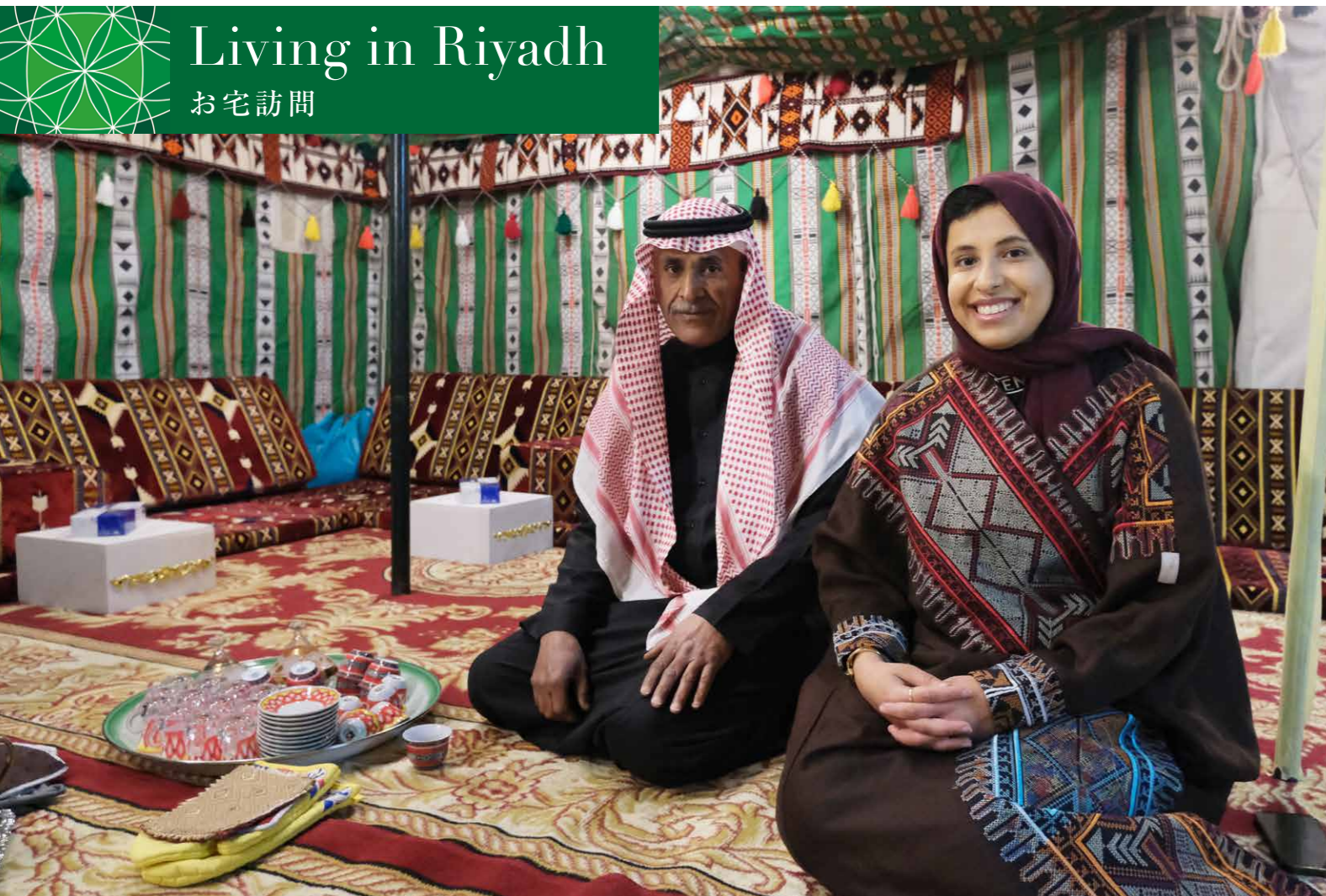
	1㎡あたりの単価			
	集合住宅購入価格	集合住宅賃貸料	一軒家購入価格	一軒家賃貸料(年間)
中心部	SAR 3,500 ~ 4,500	SAR 240 ~ 320	SAR 5,000 ~ 6,500	SAR 325 ~ 450
北部	SAR 3,000 ~ 4,000	SAR 140 ~ 180	SAR 4,000 ~ 6,000	SAR 280 ~ 375
南部	SAR 2,000 ~ 2,800	SAR 240 ~ 320	SAR 2,750 ~ 3,750	SAR 205 ~ 320
東部	SAR 2,250 ~ 3,500	SAR 140 ~ 225	SAR 3,250 ~ 4,500	SAR 235 ~ 350
西部	SAR 2,500 ~ 4,000	SAR 140 ~ 250	SAR 3,500 ~ 5,750	SAR 250 ~ 390
平均	SAR 3,230	SAR 208	SAR 4,500	SAR 318

出所：KPMG (2022) Riyadh Real Estate Market Overview



Living in Riyadh

お宅訪問



1階



アルアブジュラアリ ファミリー

Alabdullaaly Family

家族構成

- 父 (政府機関の仕事に従事)
- 母 (元教師)
- 長男 Ibrahim (政府機関の仕事に従事 37 歳)
- 長女 Mishaal (政府関係の仕事に従事)
- 次女 May (カナダで研修医)
- 三女 Maha (学生)
- 次男 Qassim (学生)

使用人

- 女性 2 名 料理・掃除担当
- 男性 2 名 ドライバー兼任、庭の手入れ等

上位中産階級のサウジアラビア人一家

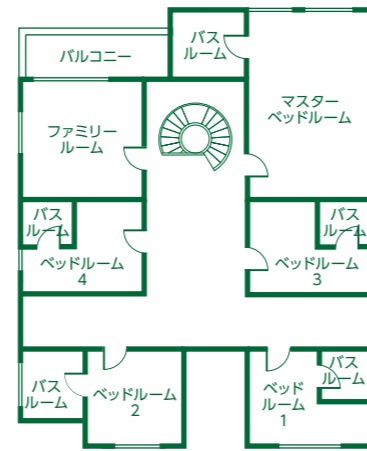
お住まい

お父様が約 40 年前に購入した 2 階建ての一軒家で、屋外パティオがある。1 階にはキッチンやリビング、入口を入ってすぐにお客様をもてなすマジリス（応接室）、そして奥には女性専用のマジリスがある。週末に親戚や知人などの来訪時は家の中のマジリスでもてなし、ラマダンの際や特別な来客の場合は、アラブの伝統的な飾り付けをしたマジリスをパティオに設置する。その際にはお茶やコーヒー、伝統的なお菓子などを食べながら、夜中の 1~2 時までお話をして楽しむそうだ。



2階には家族が団欒できる部屋があり、各寝室につながっている。7つの寝室には全てシャワーとトイレが完備されている。長男、長女、三女はとても日本の文化とアニメが大好きだそうで、部屋には日本のものが飾られている。長男の部屋には、小さい頃から集めている高価なフィギュア、長女の部屋の壁には、彼女が集めた漫画が貼られ、3女の部屋には、アニメのクッションやブランケットがある。

インテリアはお母様が主にコーディネートを担当している。アメリカ製以外の家具は小さく、この家に合わないため、アメリカ形式のデザインを好んでいるようだ。

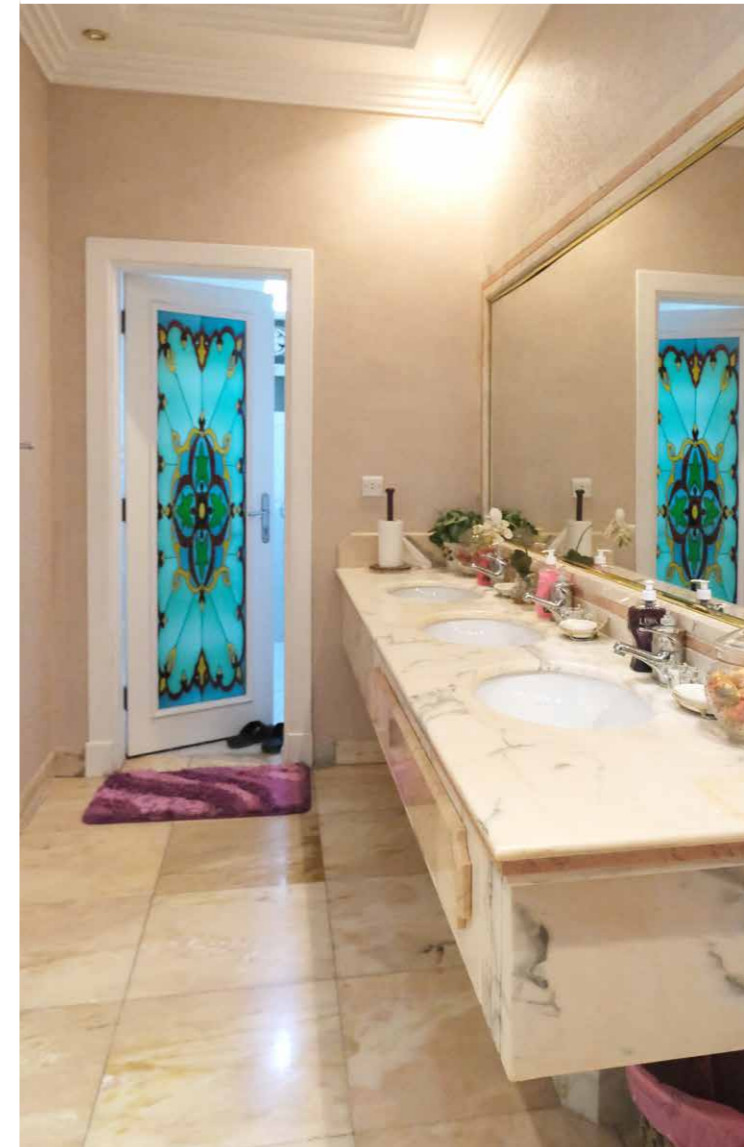


2階



食事情

2人の女性メイドが食事作りを担当しており、うち1人は数十年間専属で働いている。お母様から色々なレシピを教わってきたため、家族の好みの味をよく理解している。全ての食事はお母様の指示のもとつくられる。カルダモン、クミン、ドライブラックレモンなどの調味料をよく使い、できるだけ油を控えめにするためノンフライヤー家電を使用するそうだ。父、母、長男はサウジアラビアの伝統的な料理を好むが、ご家族全員イラン料理や日本のチーズケーキも好物とのこと。また、子供たちは特に日本食が好きで、日本食レストランに良く行くそうだ。三女と次男はファストフードやカジュアルなアメリカ料理を好み、1日に1回はアプリでデリバリーサービスを利用する。デリバリーを頼まない時は、外食に出かける。1ヶ月の食費は15年前に計算した際に22,000リアルで、計算してはいないものの、最近では約35,000リアル程度ではないかとのこと。



休日の過ごし方

子供が大きくなったため、家族全員で出かけることは少なくなったそうだが、ロンドンや次女がいるカナダなどへの海外旅行は一家で行くそうだ。また、週末には、家族や徒歩圏内に住んでいるお母様の妹家族と食事をすることが多い。(お母様と妹さんは近所なのでほぼ毎日あっているとのこと。) 長男は友人と砂漠に行き、バーベキューをしたり、焚き火を囲んでお茶をしながら、伝統的なアラビアギターのウードを演奏して過ごす。



食

Food

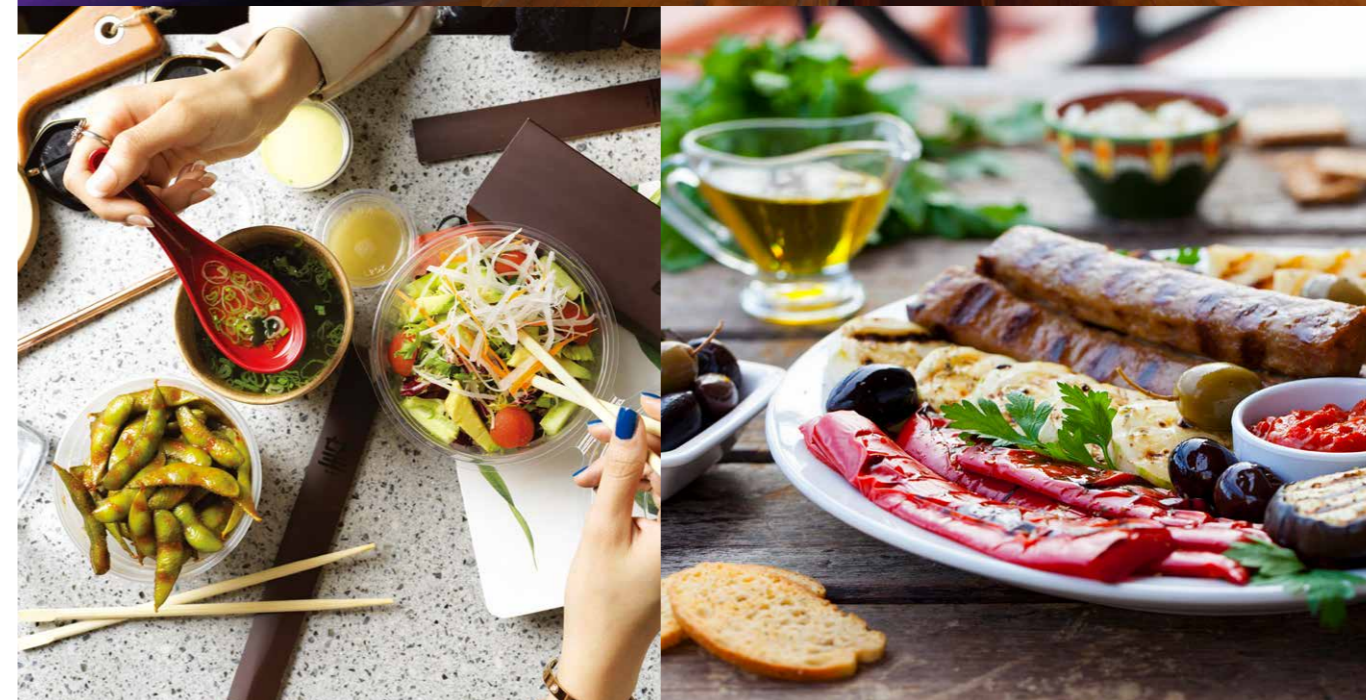
サウジアラビアは家族や親族の結びつきが強く、特に金曜日のモスクでのお祈りの後、親族で集まって会食をする機会が多い。リヤドの1世帯当たりの人数平均が5.7人であることを考慮すると、一回の食事において一人の料理人で人数分をまかなうのは負担にもなり得る。その為、料理人を雇っている家庭もある。

ラマダン中の断食明けのイフタルとよばれる食事の形態は、親族一同や友人を招待する夕食会で、社交的にも重要視されている。イフタルに招いた訪問客をもてなす際にケータリングを注文する家庭も多い。また、企業が従業員や取引先のためにホテルに招待してイフタルディナーを振舞うこともある。ファーストフード、レストランチェーン店やカフェ等は友人達と過ごす場所として、娯楽産業の一部となっている。

サウジアラビアは人口が急増しており、都市化が進んでいるため、食品業界は成長している。特に、若年層の消費者が増えており、外食産業に対する需要が高まっている。サウジアラビアの中小企業省 (Monsha'at) によると、外食産業は2022年上半期に6.3%成長した。成長の要因はフードトラック、カフェ、ポップアップダイニング、レストラン、フードデリバリービジネスなど、多様なアイデアを持った新世代の飲食産業へ参入によるものだと考えられている。さらに、男女別の食事様式の廃止になったことにより、女性の消費が伸びたこと、大規模なスポーツイベントが増えたこと、また中小企業省からの急成長を遂げる企業への1億8,700万ドルの投資やサポートも成長を後押しした。2021年には5億1,100万ドルを達成した食品アプリとデリバリー市場も、2026年までに毎年10%の成長が見込まれており、大きな成長を遂げている。サウジアラビア投資総局 (SAGIA) は、年間1.8%の人口増加及び15-44歳の人口が53%を占めているという背景から、国内の外食産業への支出が今後5年間で毎年6%成長すると予測している。

出所: ARAB NEWS (2022年8月29日) Saudi Arabia's food and beverage sector books 6.3% growth in H1 2022: <https://www.arabnews.com/node/2152641/business-economy>

出所: Monsha'at <https://www.monshaat.gov.sa/en>



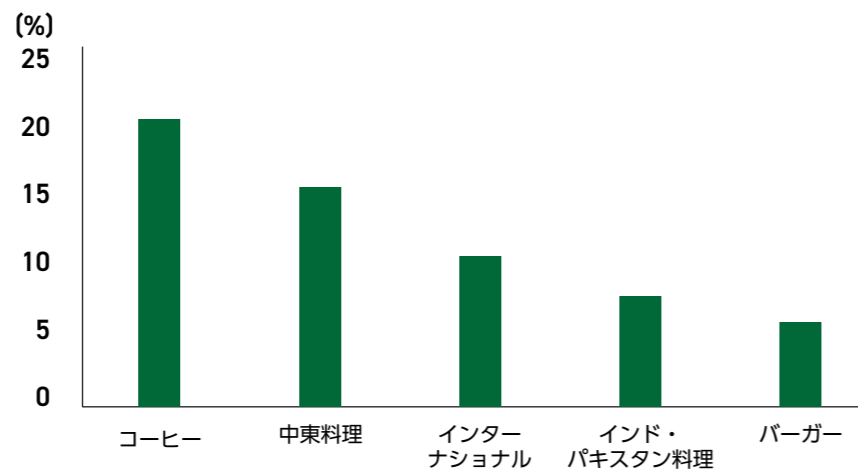
外食産業 Food Service Industry

食のトレンド

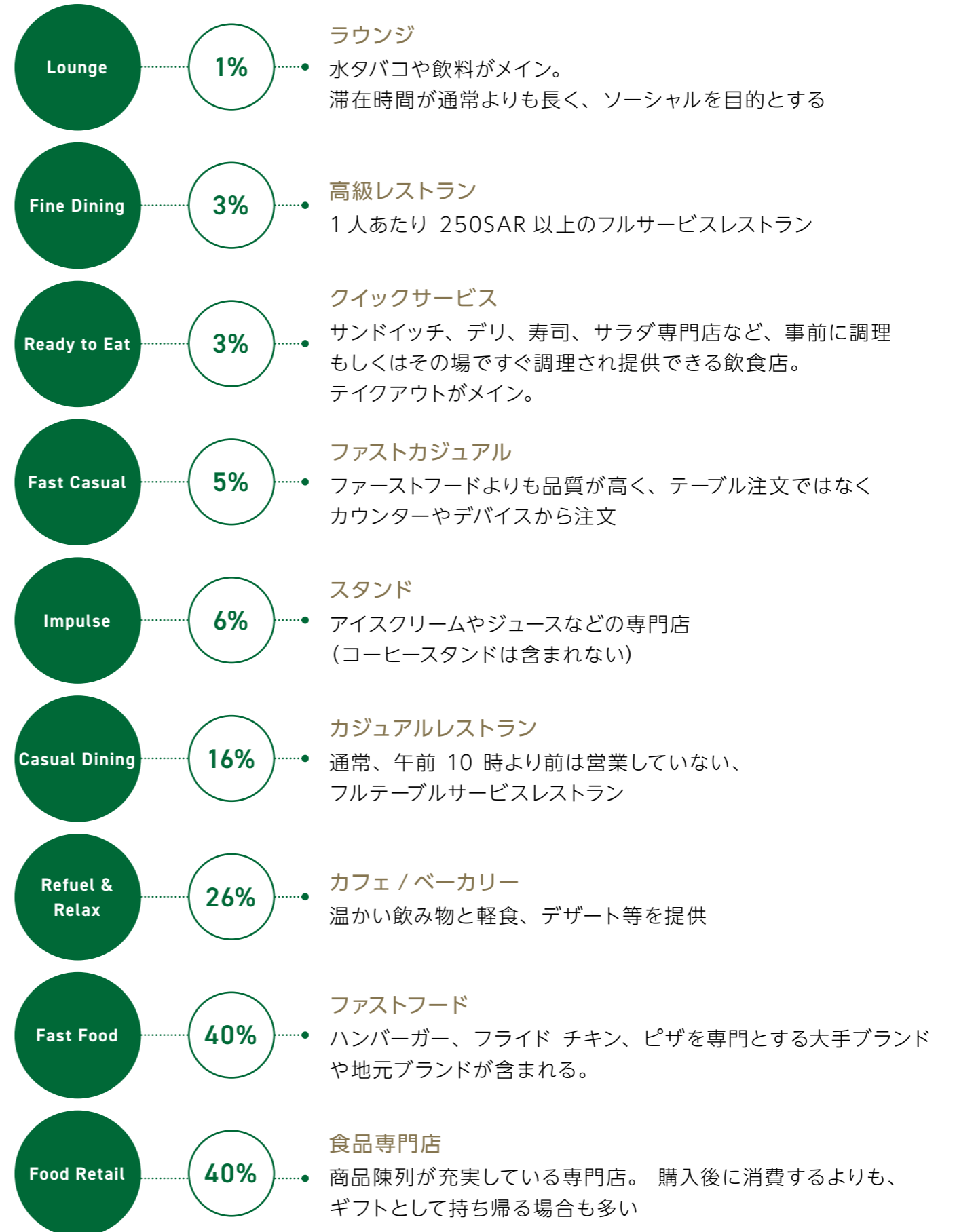
Food Trends

- » リヤドではここ数年で、国際的な高級レストランが 20 件以上続々とオープンし、今後も増える見込みである。
- » まだファストフードの人気も高く、国際的にも有名な大手ハンバーガーチェーンやフライドチキン店なども人気ではあるが、地元発のファストフードの「Al Baik」や「Herfy」も根強い人気がある。
- » コーヒーショップやカフェは、ファストフードに次いで 2 番目に多い店舗であり、人々の主な交流場所となっている。
- » 今後 10 年間で、国際的なブランドや地元発祥のカジュアルダイニングやファストカジュアルレストランが進出すると予想。新しいコンセプトや室の高いレストランが登場するにつれ、これらのレストランの人気が高まる可能性。
- » 提供料理別に見ると、カフェ人気からコーヒーが一番多く、続いて中東料理、国際的、インド/パキスタン料理、ハンバーガーである。
- » 健康的な食事を提供するレストランが 1% 未満だが、今後成長する可能性は大きい。

提供料理カテゴリ上位5位



出所: JLL(2020) Future of food service in Saudi Arabia



出所: JLL(2020) Future of food service in Saudi Arabia



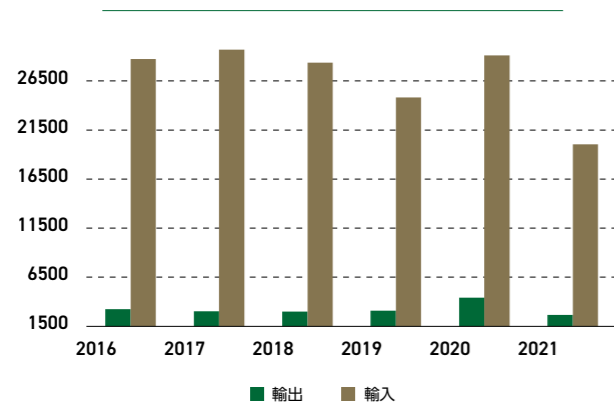
食材輸入

Importing Food Products

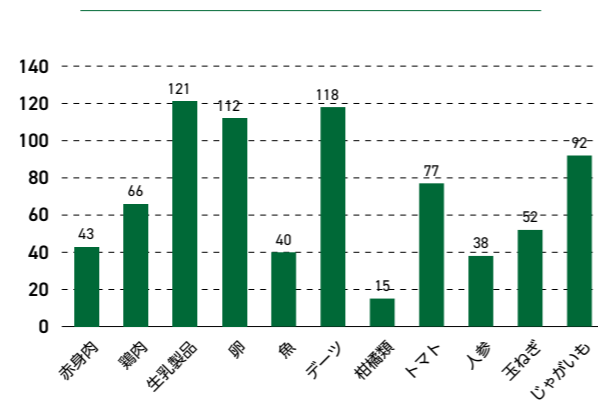
2021年の農産物輸入総量は約2000万トンで、そのうち「穀物」が42.5%を占めた。同年の輸出総量は約265万トンで、このうち23.5%が「乳製品、卵、天然はちみつ」だった。2021年のサウジアラビアの農産物輸入総量は約2000万トンで、そのうち穀物が42.5%を占めた。一方、同年の輸出総量は約265万トンで、そのうち23.5%が乳製品、卵、天然はちみつだった。

サウジアラビアでは、製品によっては食料自給率も高く、2021年中に生乳製品の自給率が121%、生鮮乳製品が121%、食用卵が112%に達した。また、デーツは植物資源として最も多く生産され、2021年の自給率は118%、じゃがいもが92%、トマトは77%だった。

2016年から2021年の農作物と家畜の輸出入量(千トン)



2021年の農作物と家畜の自給率(%)



出所：サウジアラビア統計局 (GASTA) Agricultural Statistics Publication for 2021

スーパーマーケット

Supermarket Chains

主なスーパーマーケット

リヤドにあるスーパーマーケットは、世界各国から輸入される食材を含め品揃えが非常に豊富であり、大型スーパーもモール内に多数存在する。

カルフル (Carrefour)

このフランス系大手ハイパーマーケットは、市内に9店舗の大型店舗を構え、総合食品や日用品を中心に多岐にわたる商品を取り扱っている。アラブ首長国連邦の財閥 Majid al Futtaim が中東地域の経営をしている。

ダニューブ (Danube)

Bin Dawood Holding が運営するこの高級スーパーマーケットは、サウジアラビア国内で85のスーパーマーケットを展開している。リヤドでは、8店舗を展開。アジア系食材の品揃えが豊富で、日本食品のインスタント味噌汁や醤油なども取り扱っている。

タミマーケット (Tamimi Market)

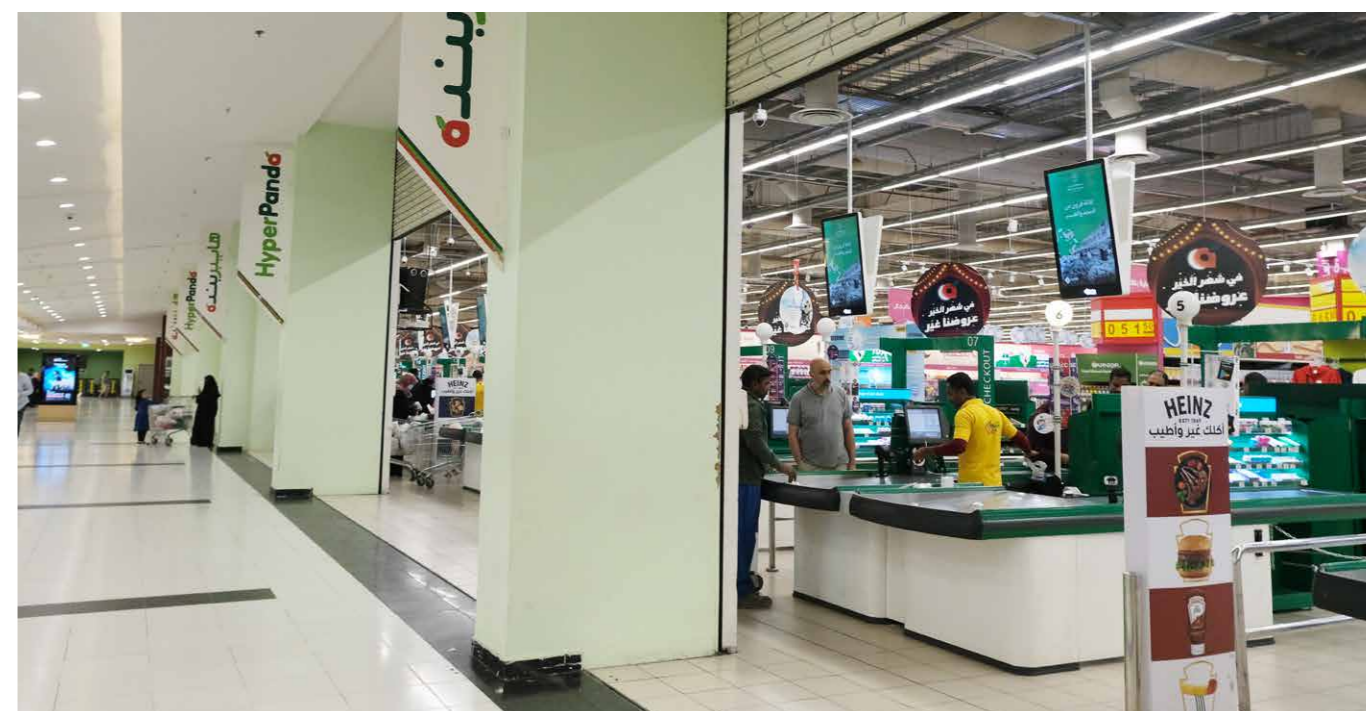
国内およびバーレーンに90店舗以上あり、最近ではリヤド市内でも新しい店舗が次々とオープン。通常の食品や日用品に加え、米国や英国からのプライベートブランド商品も扱っている。

パンダ (Panda)

サウジアラビア国内最大手のパンダはサウジアラビアに本拠地を持ち、中東40都市で188店舗を展開している。

アル・オセウムマーケット (Al Othaim Markets)

リヤドに拠点を置くこの企業は、卸売業も経営している。サウジアラビア国内に268店舗を展開し、リヤドには大型店舗6店舗を展開している。



その他の食料品店

Other Food Retailers

サウジアラビアには、「バカラ」と呼ばれる100平米弱の小売店舗が町中に点在している。住居から歩いて行ける距離にあるため、運転が許されていない女性も気軽に利用できる。支払いは現金のみだが、月払いのシステムや宅配サービスもある。また、外国人が居住するコンパウンドには必ず1~2店舗、小規模な食料品店がある。



インフレーション

Inflation

サウジアラビア統計庁 (GASTAT) が発表した公式データによると、2023年2月のサウジアラビアのインフレ率は前年同月比で3.0%上昇した。2月のインフレ率上昇の主な原因は住宅、水道、電気、天然ガス、およびその他の燃料の価格が7.0%、食品と飲料の価格が3.0%上昇したことだった。特に上昇率が高かった食品は、「肉と鶏肉」で4.1%、「乳製品と卵」で14.1%であり、食に関わる「ケータリングサービス」も6.6%上昇した。さらに、2018年に導入された5%の付加価値税が、2020年7月に15%に引き上げられたことも、消費者の支出に影響を与えているとされている。

出所：サウジアラビア統計局 (GASTAT) Consumer Price Index February 2023

商品価格 1米ドル = SAR 3.75



ミネラルウォーター

国内産
600ml SAR 1.15
1.5L SAR 1.50

輸入
500ml SAR 5.80 (Fiji)
500ml SAR 7.50 (Volvic)
700ml SAR 9.50 (Fiji)
1.5L SAR 20.95 (Evian)

出所：Tamimi (<https://shop.tamimimarkets.com/en>)
<https://shop.tamimimarkets.com/category/water-1>



コーラ

250ml SAR 2.50
500ml SAR 3.10
1L SAR 5.0

出所：Tamimi
<https://shop.tamimimarkets.com/search?query=Coca%20Cola>



チェーン店のコーヒー

小 SAR 14.00
中 SAR 16.00
大 SAR 18.00

出所：Starbucks
<https://foursquare.com/v/starbucks/5c1889f756c89f002c6b9b43/menu>



ファーストフード ビーフバーガー

SAR 6.00

ファーストフード チーズバーガー

SAR 7.00

出所：マクドナルド
<https://www.riyadh.mcdelivery.com.sa/sa/riy/browse/menu.html?daypartId=1&catId=2#signin>



スペシャルインタビュー
SPECIAL INTERVIEW

オマール アル ムスファー
Omar Al Musfer
会社名: Katsu Sando

日本式の軽食を提供するレストランの
セールスマネージャー (イエメン人)

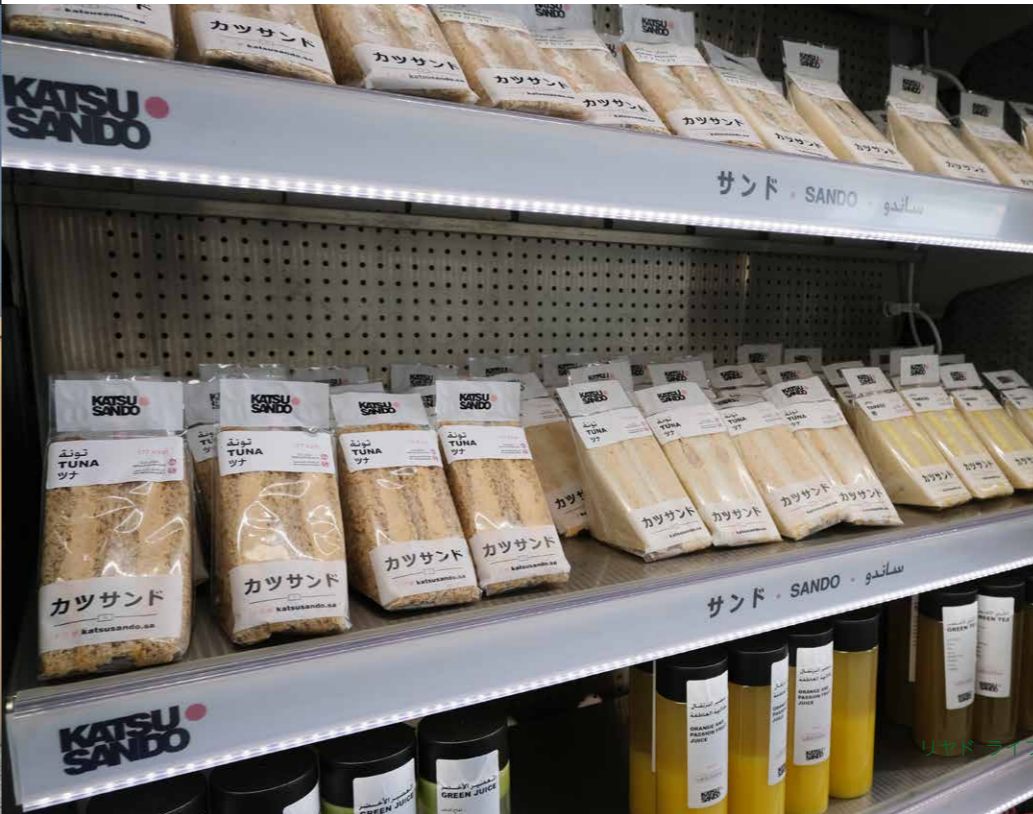
会社の規模を教えてください。

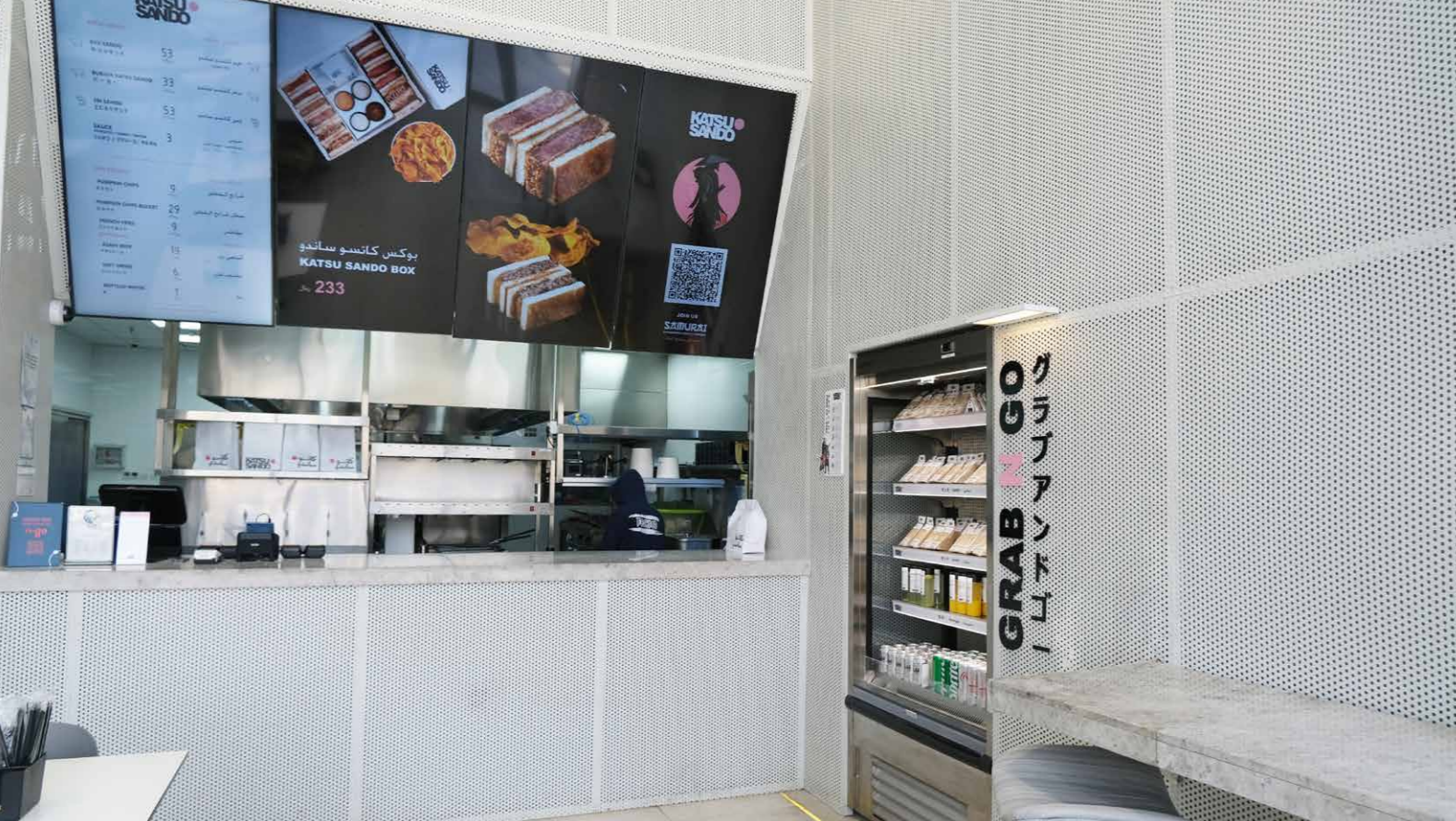
会社の規模は小規模ですが、サウジアラビア、インド、バングラデッシュ、ヨルダン、エジプト、イエメンからの多国籍スタッフが在籍しています。店舗には10名、セントラルキッチンには15名程度が配属されており、サウジアラビア人のシェフもいます。

提供する商品の特徴は？

手軽に食べられるサンドイッチで、温かいものと冷たいものに分かれています。温かいものには和牛サンドがあり、冷たいものにはエビ、ツナ、卵、そしてフルーツサンドなどがあります。また、おにぎりも提供しています。日本で食べるおにぎりに近づけるように、包装するフィルムも日本

日本に留学していたサウジアラビア人のオーナーが、日本の食文化に感動し、日本文化を広めるためにリヤドに開店したレストラン。主力商品は日本式のサンドイッチで、おにぎりも提供する。路面店は1店舗だが、イベント出店や、リヤド市内の8つのカフェに商品を卸すなど、積極的に販売網を広げている。レストランのコンセプトは「Grab & Go」で、良い物を良い値段で素早く提供することである。





のコンビニおにぎりに使用するものと同じものを輸入しています。海苔をパリッと保つことができるのがいいですね。

価格帯と売れ筋商品を教えてください。

冷たいサンドイッチとおにぎりは7-17リヤルで、温かい和牛サンドは143リヤル、牛とエビが両方楽しめる商品は53リヤルです。主に16歳から40歳くらいのお客様にご購入いただいています。和牛サンドが人気ですが、当店の商品を一度試したお客様が、他の味やおにぎりを試してみたいという理由でリピート購入してくださっています。冷たいサンドイッチやおにぎりは、大学内の自動販売機でも販売され、1日に約60食が売られています。また、10から14歳が通う学校にも140食の冷たいサンドイッチを毎日届けています。2022年の半ばまでは、コロナの影響であまり良い業績とは言えなかったのですが、12月頃からビジネスが急速に伸び始めました。

運営していく中で、気づいたことは何ですか？

サウジアラビア人にとって、休み時間等に小腹を満たすものは、今までチョコレートバーといった菓子類や、炭酸のジュースなどが多かったと思うのですが、最近はサンドイッチやおにぎりに変わってきています。日本食ということで、より健康的なイメージもあり、人々が健康に気を使い始めたのではないのでしょうか。また、冷たいサンドイッチを食べるという習慣が今までなかったのですが、我々の商品を通じて冷たいサンドイッチが受け入れられ、一般的になっていると感じます。

今後の展望は？

2023年中には、新たに3店舗を出店する予定です。将来的には、日本文化の発信地となるお店にしたいと考えています。

